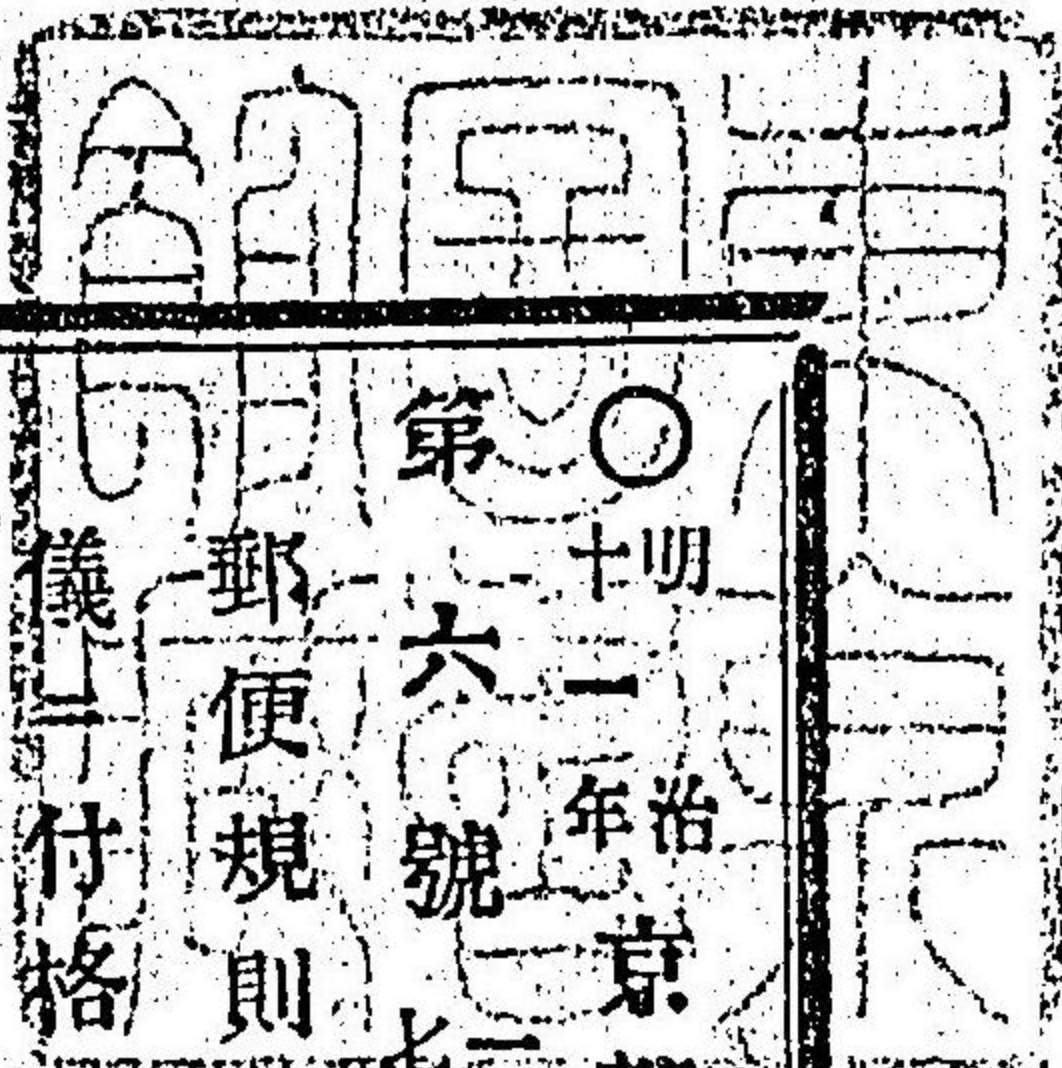


CZ  
1113  
69-02  
04

自明治十一年  
至全十二年

京都府布達要約

C2  
1113  
69-04



明治十一年  
六月七日  
京都府布達要約

郵便規則中官民往復之方法ヲ被設候ハ實ニ官民俱々便宜ヲ得ル之儀ニ付格別低稅ニテ郵送相成候厚キ御趣意ヲ可致奉戴候就而者今般更ニ驛遞局ニ議シ右致着手候條左之通相心得可申候

一 人民呼出シ狀及諸願伺届等之内一時請取置候而他日呼出口達ニ不及指令而已下渡來候分並達等之儀モ都合ニヨリ以後郵便ヲ以テ可下附候事

一 人民呼出シ狀並ニ達ニ限リ別紙雛形之通一種端書ヲ當府ニ於テ製造シ郵便ニテ相達候事

但當府直轄之地ニ限リ相用候事

一 人民便利之爲メ學校有之地位ニ應シ函場及切手賣下ケ所設候條諸願伺届人民相互之信書ニ至迄郵便局又ハ便宜集信函へ投入不苦候事

一 管内之地ハ何レ之地ニテモ悉皆日々之郵便ニ改正相成候條各郵便局ヨリ信書ヲ集候時間ヲ量リ各郵便局及其他之函場へ投入可致事

一 一般ヨリ差出候諸願伺届等モ適宜ニ郵便ヲ以テ差出不苦事

一 書留及別仕立書狀取扱之儀ハ郵便局或ハ請取所ト大書有之處ニ限リ候條其旨相心得可申事

但請取書ヲ不欲モノハ書留別配達共規則之通朱書切手貼付候上ハ何レノ函場へ投入候トモ差支無之候得トモ別仕立之儀ハ郵便局及請取所へ直ニ可談示事

右之通管内無洩相達スル者也

〔別紙端書雛形略之〕

第八號 八月八日 (十三年第四百七十九號ヲ以取消)

第九號 全上 △

番外第一號 九月九日

明治七年九月第九拾貳號ヲ以太政官ヨリ公布相成候社寺遞減祿ノ内本年ヨリ來十六年迄ニ年々可相渡金額一時操上ケ給與ノ儀出願ノ者ハ一割利引ノ算則ヲ以被下渡候條右望ノ者ハ大藏省宛ノ願書ヲ以當府へ可差出候事

但取調中ニテ初年以來内渡ノ分モ本年分ヨリハ本文同様可相心得事右之通遞減祿有之社寺へ無洩相達スル者也

番外第二號 十一月十一日 郡中 △

第十二號 十一月廿二日 地券紛失ノ事ニ付略ス

番外第三號 全上 車紛失ノ事ニ付略ス

第十四號 十一月廿四日 △

第十五號 十一月廿五日 △

第十六號 全上

内外農事ノ實況ヲ取攬シテ之ヲ全國ニ報道シ其損益ヲ計較シ得失

ヲ審接スルハ大ニ農務實際ノ事業ニ裨益ヲ與フル尠カラヌ故ニ本年一月ヨリ別冊假規則ノ通り勸農局ト各地方トノ間ニ農事通信ノ便路ヲ開キ質問報答互ニ勸農ノ實効ヲ擧ントス然レモ徒ニ規則ノ末節ニ拘泥シ官民ノ間無數ノ煩雜ヲ生シ農家ノ嫌厭ヲ來シ候テハ却テ勸農ノ本旨ニ戾リ候事ニ付注意致シ候様同局ヨリ通知有之候條通信報道或ハ質問スヘキ事アラハ府廳又ハ各支廳勸業場等へ便宜ニ從ヒ申出ヘシ此段爲心得管内へ無洩相達スル者也

(別冊)

府縣通信假規則

第一則

明治十一年一月ヨリ勸農局ト府縣廳トノ間ニ於テ時々通信質問ノ便ヲ開キ全國農事ノ氣脈ヲシテ相聯絡セシムルヲ務ムヘシ

第二則

一府縣廳ニ於テハ常ニ其管下農事ノ景況ト該廳勸農事務ノ本末ヲ記載シテ之ヲ勸農局ニ通信スヘシ

第三則

一勸農局ニ於テハ第二則通信中ノ要件ヲ擇ヒ或ハ之ニ本局ノ意見ヲ加ヘ又ハ農家ノ參考トナルヘキ内外ノ雜事雜說ヲ附記シテ之ヲ全國又ハ關係ノ地方ニ報道スヘシ

第四則

一府縣通信ノ部ヲ分テ臨時報月報年報ノ三種トス  
但シ本局報告亦之ニ全シ

第五則

一臨時報トハ事ノ重大又ハ急遽ニ係ルモノヲ云フ其事項ハ左之類  
ニ照準スヘシ(事ノ尤モ甚シキハ電報ヲ用フヘシ)  
一氣候節ヲ失ヒ冷熱俄カニ至リ或ハ風雨水旱等ノ災ニヨリテ農

産ヲ害シ農業ヲ妨クルノ類  
 二植物ノ虫害或ハ家畜傳染病ノ徵候アル類  
 第六則

一月報トハ事急遽ニ係ラサルモ延テ年報ニ付スヘカヲサルモノヲ云フ故ニ一月或ハ二ヶ月分ヲ束テ一時ニ報道スヘシ其事項ハ左ニ照準スヘシ

但シ能ク緩急ヲ量リ時機ヲ失ハサルヲ要ス

一先般内務省ニ於テ改定セル農産表ノ品目ニ關スル物産ノ生長及  
 豊凶ヲ報スル

但シ本行品目ニ洩ルモノト雖モ該管内ニ生スル著名ノ農産  
 ハ本文ニ同シ

二各地方廳植物栽培場或ハ管下ニ於テ人民ノ試験セル植物類生長  
 ノ景況及ヒ後來其地ニ適シテ民益トナルヘキヤ否ノ意見等(勸農

局ヨリ頒布セシ種子苗木類之ニ準ス)

三有益ノ種子苗木類ヲ其管下ニ頒布セル事

四農業ノ諸試験

五山野ヲ開キ廢田ヲ興シ新ニ物産ヲ繁殖スル類

六耕作ノ方法ヲ改良シ或ハ農具ヲ改製シテ勞費ヲ省ク類

七從來粗惡ナリシ物産ノ品位ヲ進メ隨テ産出ヲ増加セシ事

八農業上ニ於テ人民新ニ一種ノ營業ヲ興セシ事

九從來棄テ、顧ミサリシ山野ノ遺利ヲ拾ヒテ有益ノ物産ヲ興セシ事

十農業會社或ハ農業ニ關スル男女生徒ヲ教育スル方法ノ事

十一養蠶牧畜等ノ景況

十二農業上便宜ノ機械ヲ用ヒ或ハ水力、風力、火力、牛馬力、等ニヨリテ

大ニ勞費ヲ節減セル事

十三農産展覽會ヲ開キ或ハ農産競市場ヲ設ケ農業ノ進歩ヲ鼓舞ス

ル方法ノ事

十四 農業ニ關スル著書論說ノ事

十五 現時海外輸入品ニ代用スヘキ物産ノ繁殖或ハ新ニ輸出シテ外國需用適否ヲ試ミレ事

第七則

一 凡通信ハ務メテ平易ノ文ヲ用ヒ虚飾失實ノ弊ナキヲ要ス其得失利害ニ關スルモノハ尤モ注意スヘシ

第八則

一 本局ニ於テ此月報ヲ檢點シテ事實明瞭ナラサルカ或ハ疑義アリテ之ヲ質問スルハ府縣廳ニ於テ速カニ其質問ニ應スヘシ

第九則

一 各府縣ニ於テ農業上ノ疑義ヲ質問セントスル時ハ其事由ヲ審カニシテ之ヲ本局ニ郵致スヘシ然ルハ本局直ニ之カ答辨ヲナスヘシ

第十則

一 前條ノ場合ニ於テ本局ノ了解シ難キ事項ハ或ハ之ヲ廣告シテ一般ノ說ヲ求メ或ハ海外各國ノ勸業局若クハ有名ナル農學家等ニ質問シテ其事實ヲ查究スルハ本局其任ニ當ルヘシ

第十一則

一 月報ノ外本局別ニ一種ノ問題ヲ設ケテ之ヲ各府縣ニ質問スルハ各府縣ニ於テ其問題ノ主義ニヨリ速カニ回答書ヲ作ルヘシ

第十二則

一 月報中筆力ヲ以テ悉シ難キ物質形狀等ハ圖畫或ハ寫真ヲ添ヘ或ハ離形見本ヲ以テ本局ニ郵致スヘシ  
但シ本局ヨリ各地方ニ郵致スルモノ之ニ全シ

第十三則

一 月報中數量其他統計ニ属スルモノハ成ヘク表ニ收ムヘシ

第十四則

一各地方言等ノ一般ニ解讀シ難キ者ハ傍訓ヲ施ユシ或ハ分注ヲ加フヘシ  
第十五則

一年報トハ各地方ニ於テ一週年間(曆年度即チ一月ヨリ十二月マテ)  
ニ經過セル農事進歩ノ景況ト該處勸農事務ノ成跡及ヒ將來勸奨  
ノ意見等ヲ加ヘテ編成セル一部完全ノ報告ニシテ月報トハ稍其  
趣キヲ異ニスルモノナリ

第十六則

一年報ニハ圖畫或ハ計表類ヲ編入シ務メテ詳密ヲ要スヘシ

但シ其材料ハ多ク臨時報月報中ヨリ抄録スヘキモノトス

第十七則

一此通信假規則ハ各地ノ便宜ト農業進歩ノ度ニヨリ漸次改正増補  
スルコトアルヘシ

第十八則

一本局報告質問ノ件ハ報告書へ編入シ或ハ各社新聞紙上本局録事  
欄内ニ登録スルコトアルヘシ

但シ一二地方ニ限リ報告質問スルモノハ此限リニ非ス

第十九則

一府縣ニ於テハ勸農主務属官ノ内ニ於テ通信委員ヲ置キ豫テ其姓  
名ヲ本局ニ届ケ置クヘシ

第二十則

一通信書ハ府縣委員其長官ノ閱テ經テ直ニ本局報告課ニ郵送スヘシ

番外第四號 一月五日 山城國一般 △

第二十號 一月八日 △

第二十五號 二月二日 △

第二十七號 二月四日

十四年甲  
二百十九  
號ヲ以取  
消

市郡各區ニ於テ近來漸次女紅場開業之處教員各自ノ得意ニ任セ教  
授方法宜キヲ得サル等ノ義有之候テハ勞シテ功ナキニ至ルヘシ依  
之本年八月以後別紙市郡女紅師規則施行致シ候條爲心得管内無洩  
相達候事

但土手町女紅課業表相添へ候事

〔別紙略之〕

第二十八號 四月 〔十四年第三十四號ヲ以取消〕

第二十九號 全上 △

第三十一號 五月 ○

第三十三號 六月 ○

番外第五號 全上 〔十二年番外第十七號ヲ以改正〕

第三十四號 九月

勸農局ニ於テ東京三田育種場農産會市開設ニ付會市順序同規則繪

圖面等別紙之通ニ候處今般各地方著名之穀菜種物交換之爲メ毎年  
二月十一日ヨリ同廿一日迄八月十一日ヨリ同廿一日迄之間大小市  
日之外更ニ開場相成候條農業勸誘之趣意ヲ奉シ前文之別紙篤ト遂  
熟覽出品ヲ望ノ者ハ勝手次第出品可致候事  
右之通管内無洩相達スル者也

〔別紙育種場着手方法並農産會市場規則及會市順序共略之〕

第三十九號 二月 〇

番外第六號 全上

向後家作致ス者ハ町並一間ヲ引退ケ可建構旨去ル壬申歲四月及布  
達候趣意ハ管ニ町幅ヲ擴ムル而已ナラス一間ヲ引退キ家作致置候  
得ハ軒先雨水等モ私有地ニ止リ後年家屋修繕候共造作中曾テ道路  
ヲ侵サス且營業上ニ於テモ往々便利之事共有之候ニ付厚ク可相心  
得之處修繕ヲ名トシテ改築シ或ハ塀圍之體裁ニ繕ヒ家作致ナカラ



壹間ヲ引退ケサルモノ有之追々及處分候付テハ以來新建之分ハ高  
塀板圍ト雖モ町敷壹間ヲ引退ケ可建構事  
右之趣京伏市中へ無洩相達スル者也

番外第七號 二月十六日

各小學校ニ於テ上級生徒之内ヲ以テ下級生ヲ教授スル助ケヲ爲サ  
シムルハ不苦候得共内助教ト號シ教授ノミニ從事セシメ已ニ大小  
檢査之節モ受檢生徒之員ニ加ヘサル向モ有之哉ニ相聞ヘ右者當人  
學業進步ノ妨ケニ可相成不都合ノ事ニ付以後一般生徒ト齋シク修  
業セシメ檢査ノ節モ勿論受檢セシム可キ事  
右之通各學校へ相達スル者也

第四十二號 二月廿一日

第四十三號 全上

第四十四號 二月廿三日

△ ○ △

番外第八號 二月廿二日 郡一般 △

第四十五號 二月廿六日 ○

第四十七號 二月廿七日

第四十九號 二月廿八日 △

第五十號 三月一日 (本年第三百二十九號ヲ以改正)

第五十二號 三月五日

第五十四號 三月八日

地券紛失ノ事ニ付略ス

地券紛失ノ事ニ付略ス

從來盜難或ハ紛失届方區々相成就中物品等價位無之儘差出來候處  
後日犯人捕獲取糾ノ節差聞不勘候條向後別紙雛形ニ照準可成丈詳  
記シ可届出事

但數點ニテ一時取調兼候ヨリ届出遲延致シ候テハ不都合ニ付代  
積無之儘届出置追テ代價見積其旨届出候テモ不苦候事  
右之通管内無洩相達スル者也

別紙雛形

盜難或届  
ハ紛失

一金何圓何拾錢

但種類何々

一何品

代積何圓何拾錢

一、  
一、  
一、

一、  
一、  
一、

合計何圓  
何點

此代積何圓、

右者何月何日

午前午後何時頃何、  
〔紛失或ハ盜難ノ始〕、御届仕候以上  
未詳細記載スベシ

京都府平民

上下京或ハ第何區何村何番地住

何年月日  
被盜主 何 條 某 印  
紛失

又ハ

何府華士族平民或ハ  
何縣子弟

何國何大區何小區何郡何村何番地住

當時上下京或ハ第何區何村何番地寄留

被盜主 何 條 某 印  
紛失

右之通申出候ニ付與印仕候也

右町

戸長 何 條 某 印

京都府長官宛

〔本年第三百五十五號ヲ以追加〕

第五十六號

三月八日

地券紛失ノ事ニ付略ス

第五十八號

三月十三日

乙第二十號

舊教部省九年一第二號ヲ以相達候轉宗改式ノ節承認書授受ノ儀向

後廢止候條渾テ壬申<sup>六</sup>月<sup>六</sup>第百九十二號七年<sup>二</sup>月<sup>二</sup>第十三號公布ノ通相心得自今轉宗改式ノ者ハ是迄葬祭受持ノ者へ及通知置候其旨管轄廳へ可爲届出此旨相達候事

但同派ニテ甲乙相轉候モ同様タルヘシ

明治十一年三月四日

內務卿 大久保利通

右之通達有之候條以來轉宗改式者ハ當府又ハ最寄支廳へ其都度可届出此旨管内無洩相達スル者也

第五十九號

<sup>三</sup>月<sup>三</sup>日

地券紛失ノ事ニ付略ス

第六十號

<sup>三</sup>月<sup>六</sup>日

內務省地理局ニ於テ關東大三角測量施行相成逐次八州外擴及ニ付測量上ニ係リ竹木枝打及伐採等之儀有之節ハ民有ハ出張官員ヨリ直ニ所有主へ示談可及候條不都合無之様可取計候事  
右之通管内無洩相達スル者也

第六十一號

<sup>三</sup>月<sup>九</sup>日

第六十二號全上

△ △

第六十六號

<sup>三</sup>月<sup>二</sup>日

乙第一號

府 縣

當省所轄各廳限リ傭入之者<sup>艦船乗組定員ノ職名ヲ云フ</sup>身元引受人証書之儀從前書式一定ニ無之不都合候條自今別紙書式雛形之通相定候間右ニ照準シ本人共ヨリ差出候節ハ區戸長ニ於テ捺印致候様可相達此旨相達候事  
但海軍ニ從事スル者ヲ以本文身元引受人ニ相立候共一切採用不致事

海軍大輔川村純義代理

明治十一年二月廿五日

海軍少將 伊東祐曆

右之通達有之証書與印之義ハ區戸長速署ニ不及書式之通可心得此旨管内無洩相達スル者也

別紙 證

何府(縣)何大區何小區何國何郡何村(町)何番地  
華(士)族(平民)

何某長(二三)男或ハ戸主又ハ何々  
何年何月何日於何國何村(町)生 氏 名

何年何月何年何ヶ月

右ノ者志願ニ付何々御傭入相成候上ハ御規則堅爲相守聊違背爲仕  
間敷本人義ニ付不都合出來候節ハ私一切引受處置可仕候且御都合  
ヲ以テ他ノ御艦其他へ御使役相成候共勤仕中ハ此證書ヲ以テ御採  
用可被下候爲後證仍テ如件

何府(縣)何大區何小區何國何郡何村(町)何番地  
華(士)族(平民)

年月日 身元引請人 氏 名 印  
何艦

何府

本病院

何々御中

前書(身元引請人何某當區)在籍之者ニ相違無之候也

〇十二年海軍省乙第四號ヲ以改正戸長

年月日 氏 名 印

第六十九號 三月廿一日

第七十三號 三月廿六日

第七十七號 四月十日

△ ○

當府下諸川ニ禁漁魚ノ外ニタイテ本年區畫ヲ定漁魚イマシ度モノ  
ハ該川字何所ヨリ字何所迄ト區畫ヲ定メ願書ニ該村(隣村)差間ナキ  
區長或者戸長ノ奥印ヲ請圖面ヲ添へ可願出事(本年第百十八號ヲ以取消)  
第貳ヶ條

一出願期限ハ(本月二十日ヨリ五月十五日迄)ニ可願出其期ニ後ノ候  
モノハ採用不致候事(本年第一百十八號ヲ以更達)

第三ケ條

一捕魚仕法ハ網漁鮎漁其他水行ノ障礙ニナラサル仕法ヲ以テ行フ  
ヘシ或ハ畝漁或ハ浸木ノ如キ兼テ水中エ漁具ヲ設ケ水行ニ關スル  
モノハ別段許可ヲ受ケ施行候儀ト可心得事  
右之通管内無洩相達スル者也

第七十八號 三月 廿八日

管下小民常ニ節儉ヲ旨トシ家事ノ冗費ヲ省キ不時入用豫備之爲メ  
積金貯置其金ヲシテ利子ヲ得ント他へ貸渡ス時ハ差掛リ取戻シカ  
タク或ハ借主ニ事故アリテ無據預ケ切ト成リ元金ヲモ失フ事聞々  
有之故ニ空敷手許ニ差置候内水火盜難ニ罹リ又ハ遊泰無益飲食ニ  
遣果シ終ニ不時之用ヲ欠キ困窮スル者不少然レハ迪聊之貯金手堅

キ預人無之假令預リ人有之共臨時返付之手數ヲ厭ヒ貴重之金貨空  
シク融通之道ヲ失ヒ貯蓄之素志ハ徒ニ水泡ニ歸スルハ遺憾之事ナ  
ラスヤ依之今般別紙之通り貯金預リ規則ヲ立當府勸業場ニ於テ預  
リ方取扱候條金員預ケ度向ハ同場エ可申出事

(別紙)

貯金預規則

第一條

貯金ヲ預カルハ專ラ管内小民之蓄積ヲ保スル爲メナレハ壹人ノ預  
ケ金壹圓以上五百圓迄ヲ限リトス  
但五百圓以上ノ預ケ金ハ明治八年第十六號布達之通タル可シ

第二條

貯金ヲ預ケント欲スル者ハ其金員及ヒ住所姓名ヲ記載シ實印ヲ押  
シ勸業場へ差出スヘシ然ル上ハ其預リ金ノ証トシテ勸業場ノ印ヲ

捺シタル証券ヲ預ケ主へ相渡スヘシ

第三條

預ケ金ハ壹圓貳圓ト圓ノ數ヲ追フテ預クヘシ壹圓未滿ノ端數ハ預カルヲ得ス利息ハ壹ケ月ニ付五朱則壹圓ノ利息五厘ヲ與フヘシ

第四條

利息金ハ毎年六月三十日十二月廿八日兩度ニ拂渡スヘシ

但預ケタル日其月ノ十五日以後ナレハ預ケタル月ノ利息ハ與ヘス十五日以前ナレハ預ケ月モ半ケ月ノ利息ヲ與フヘシ

第五條

預ケ金ノ返附ヲ欲スル時ハ証券持參次第引替差可返然レ共預ケタル月ヨリ三ケ月以内ニ取返ス時ハ利息ヲ與ヘス

但三ケ月ニ及フ共取戻ス日限月ノ十五日以前ナル時ハ其月ノ利ヲ除キ十五日以後ナル時ハ其月ノ半ケ月分ノ利ヲ拂フヘシ

第六條

預ケ金ハ幼年ニテモ預ク得ヘシト雖モ滿十五歳以下ノ者ハ區戸長或ハ親戚或ハ朋友ノ内ニテモ証人ニ立ツヘキ事

第七條

預ケ金之儀ニ付偽リケ間敷筋或ハ不都合不法ノ所爲アル者ハ預リ金不致儀ト相心得ヘキ事

第八條

預ケ金ノ証券ヲ以テ他エ讓渡シ或ハ融通ニ使用不相成事

第九條

預ケ人住所姓名印章等都テ最初願出之節ト變更スル事アラハ可届出事

第十條

預ケ金証券紛失或ハ水火盜難等ニ罹リ紛失セシ時ハ速ニ其趣届出ヘシ事實相違ナキ時ハ更ニ証券可相渡事

但預リ証書ニハ都テ番號ヲ記シ相渡スニ付紛失或ハ燒失等ニテ  
証書改ムル事アレハ從テ番號モ變更ス依テ已前ノ番號証書ハ廢  
紙タルヘキ事

右之趣管内無洩相違スル者也

第七十九號 三月廿九日 (十三年第三百九號ヲ以改正)

第八十四號 四月五日 △

第八十五號 四月二日 (十二年番外第貳號ヲ以改正)

第八十九號 四月九日 △ 地券紛失ノ事ニ付畧ス

番外第九號全上 △

第九十一號 四月十二日 地券紛失ノ事ニ付畧ス

番外第十號全上 (十二年番外第十七號ヲ以改正)

第九十三號 四月十三日 (十四年甲第九十八號ヲ以廢止)

第九十四號 四月十六日 地券紛失ノ事ニ付畧ス

第九十五號 四月十八日 諭達

第九十六號全上 △

第九十七號全上 △

第九十八號 四月廿一日 (十三年第三百五號ヲ以廢止)

第九十九號 四月廿二日 (十四年第五號ヲ以改正)

第一百號 四月廿三日 ○

番外第十一號 四月廿四日

今般育啞學校ヲ上京第廿九組東洞院通御池上ル船屋町ニ假設シ普  
通學校教授爲致候條學齡内ニテ盲啞ナル者ハ該校ヘ入學差許候條  
學務課ヘ可願出候事

但開業日限ハ追テ可相達事

右市中各區ヘ無漏相達スル者也

第一百貳號 四月廿五日 △

番外第十三号

四月廿六日

明治十年<sup>十</sup>第七十号ヲ以田畑ノ稱併用スヘキ旨公布相成候ニ付テハ地租改正後田ヲ畑ニ成シ畑ヲ田ニ成シ亦ハ田畑ヲ宅地ニ成ス等都テ地目變換候節ハ地券面ヘ何年何地成ト朱書ヲ加ヘ可相渡候條其都度地券持參當府ヘ可届出尤山林原野藪地ヲ田畑宅地ニ開墾ノ義ハ從前之通可相心得事

但田地ヘ隔年又ハ一季二季便宜ニ寄リ畑作ヲ仕付ル分ハ此限ニアラス右之通郡中ヘ無漏相達スル者也

第四百号

四月廿六日

番外第十四号 全上

京都伏見各校

△

番外第十五号

四月廿七日

丹後全國(本年番外第十六号ヲ以取消)

第一百五号

四月廿九日

地券紛失ノ事ニ付略ス

番外第十六号

四月三十日

丹後全國

△

第一百七号 全上

鍼灸取締規則

- 一 單ニ鍼灸ノ施術ヲ以テ業トスルモノハ當分鑑札ヲ付與シ營業取締ヲ爲ス可シ
- 一 鍼灸治ノ術施サントスル者ハ醫務取締ヲ經テ鑑札下渡方申出ヌ可シ
- 一 鑑札所持ノ者改名若シハ轉居等致シ候中ハ鑑札書換ノ儀申出ヌ可シ
- 一 廢業及ヒ他管内ヘ轉籍ノ者ハ鑑札ヲ返納ヌ可シ
- 一 今後無鑑札ニテ鍼灸施術スルコトヲ許サス
- 一 鍼灸<sup>ニ</sup>醫師ノ差圖ニ應シテ術ヲ施スモノナレバ假初ニモ人ヲ勸メ又鍼灸施術者獨斷ヲ以テ人ニ其術ヲ施ス可カラズ且鍼灸施術者ハ人ニ藥劑ヲ與フルコトハ勿論藥方ヲ指示シテ之ヲ服セシムルコトアル可カラズ醫務條件第十章ノ旨相心得ヘシ
- 一 鍼灸ノ術ヲ施セシ者ハ其属籍職業姓名年齢及ヒ患苦ノ状態刺灼シ



部分度數及口指圖セシ醫師ノ属籍姓名等詳細施術者ニ於テ簿記  
シ前月分翌月五日迄ニ醫務取締ヘ差出シ取締ハ之ヲ直チニ醫務  
係ニ差出スヘシ

右之趣管内無漏相違スル者也

番外第十七號 五月二日 郡中 ○

第九號 五月四日 地券紛失ノ事ニ付略ス

第百十三號 五月七日 全上

第百十七號 五月十日 有絲士民エ △

第百十八號全上

本年當府第七十七号ヲ以諸川漁魚布達ノ内第一ヶ條中隣村ノ二字  
ハ詮議之次第有之取消候事

一同第二ヶ條出願期限五月十五日限リヲ六月十五日迄延期候事  
右之通管内無漏相違スル者也

第百二十号 五月十四日

近年アニリシ<sup>緋粉類</sup>其他<sup>粉類</sup>鑛属製ノ繪具染料ヲ以テ飲食物ニ着色ス  
ルモノ間々有之候處右ハ自然人身ノ健康ヲ害スルハ勿論中ニハ甚  
シキ毒ニ罹リ忽チ非命ノ夭死ヲ致スモ有之危險ノ至リニ付注意取  
締可致旨内務省達モ有之依テ飲食彩色料販賣規則相設施行候條備  
生ノ旨趣ヲ體シ疎ニスル勿レ(八年第四百卅九號參看)  
右之通管内無洩相違スルモノ也

(別紙)

飲食彩色料販賣規則

- 第一條 飲食物ニ各様ノ彩色ヲ施ス其瀕料ハ無毒無害ノ品ニ非  
レハ彩色ニ用ユ可カラズ
- 第二條 從來慣用飲食物ニ用ユル彩色料ヲ販賣セシト欲スル  
モノハ其品成分製法或ハ産出所又舶來品ナレハ其買求メ先キ及

無害ノ理由歴驗説等ヲ詳記シ現品相添營業可願出事

但左ニ掲クル彩色料ハ有害ノ懼レ有之故ニ此品類ハ飲食ノ彩

色ニ用ユ可カラス

一 扁青 商呼紺青アシゲリアオアス

一 緑青

右二品ハ銅ヲ含ム故ニ毒アリ

一 ビクリン酸 商呼ウコシシヤ姜黄色料

右毒性ナリ

一 フクシシ 商呼紅粉

紅色料

一 アライツ 商呼紅粉

碧色料

一 カシチル

茶紅色料

一 グリーン 商呼青竹粉

緑色料

一 モリース 商呼緋粉

段紅色料

一 ビナレット 商呼紫粉

董花色料

一 マルロン

赤紫色料

一 エルロー

黄色料

一 シナシン

血紅色料

一 インドリン

藍色料

一 サフランニン

サフラン色料

一 ナレンゲ

橙黄色料

一 ポスピン 商呼茶粉 茶黄色料

一 ニコロシン

鼠色料

右アニリン製ニテ商家ノモノ毒ヲ含ミタル「アニリン」多シ歐州ニテハ別ニ無毒「アニリン」製色料アレモ未タ舶來ヲ見ス故ニ當時右等ノ「アニリン」製ハ有毒ノモノトス

一 蘇木沉澱紅

右錫鹽ヲ以テ沉澱シ製ス故ニ毒アリ

一 朱 辰砂

右ハ水銀ヲ含ム故ニ毒トス

一 石黄 商呼「キイナ」又「シナウ」

右ハ砒ヲ含ム毒ナリ

一 丹 鉛丹

一 コロム黄

右ハ鉛ヲ含ム毒ナリ

一 藤黄畫家ノ「シナウ」ト云モノ

右峻性ノモノナリ

第三條 今後新製ノ飲食彩色料トイヘ其成分製法ヲ詳記シ現品相添検査願出ヘシ

第四條 第二條第三條ニ依リ出願ノ上ハ検査ヲ遂ケ無害ノ信據アルモノハ販賣許可シ營業印鑑ヲ交付シ其營業人戸前ニハ左ノ雛形ノ通り飲食物彩色料販賣ノ目標ヲ掲ケシム

第五條 右目標ハ營業人ニ於テ調製書記シ持参届出ヘシ府廳ノ烙印ヲ捺シ番號ヲ録シ交付ス

第六條 此營業人死去スルカ又ハ他管ヘ轉籍スルハ印鑑ヲ返納シ目標烙印消却ヲ願出ヘシ又管内ニテ轉居スルハ印鑑ノ住所書換ヲ願出ヘシ

第七條 飲食物店ニ於テ飲食ニ供スルモノヲ彩色スルニ於テハ必ス

第四條ノ飲食物彩色料販賣ヲ許可セシモノノミヲ用ユ可シ但飲食物店ニ於テ彩色料ヲ自製シ用ユルモノト雖モ第二條三條ニ照シ検査願出第四條ノ許可ヲ受ルニ非レハ用ユル勿レ

第八條 飲食店ニアラズ各人自宅ニ調理給用スル飲食物ト雖モ彩色ヲ施スニ於テハ第七條ニ照シ供用スヘシ

第九條 飲食彩色料ヲ販賣スル者及飲食物業ノ者此規則ニ背候モノハ相當ノ處分アルヘシ

目標雛形

|           |
|-----------|
| 京都府政      |
| 飲食物彩色料販賣所 |
| 番號        |

二尺五寸

第二百二十一號 五月十四日  
 番外第十八號 五月十六日  
 番外第十九號 五月十七日  
 第二百二十八號 五月廿二日  
 第三百三十號 五月廿七日  
 第三百三十一號 全上  
 第三百三十九號 五月廿九日  
 第四百十號 全上  
 第四百四十一號 五月三十日  
 第四百四十三號 六月一日  
 番外第二十號 六月三日  
 第四百四十八號 六月四日  
 第四百五十號 六月五日

△ 車紛失ノ事ニ付畧ス  
 △ 市中各區 △  
 △ 地券紛失ノ事ニ付畧ス  
 (十三年第三百九號ヲ以改正)  
 △ 地券紛失ノ事ニ付畧ス  
 △ 全上  
 △ 全上  
 △ 全上  
 △ △ △

第二十一號

使 府 縣

曾テ奏任以上ノ官ニ被任現時非役ノ者死去候節ハ其時々太政官へ  
 可届出此旨相達候事

明治十一年五月三十一日

太政大臣三條實美

右之通御達相成候就テハ曾テ奏任以上之官ニ被任現時非役之者死去  
 候節ハ其旨當府又ハ最寄之支廳へ可届出此段管内へ無漏相達スル者也

番外第二十一號 六月六日  
 第二百五十二號 六月八日  
 第二百五十五號 六月十二日  
 第二百五十七號 六月十三日  
 第二百五十八號 六月十四日  
 第二百六十一號 六月十五日

桑田船井何鹿三郡 ○  
 地券紛失ノ事ニ付畧ス  
 △ △ ○ △ △

愛宕郡第壹區

岡崎村  
同郡續鹿ヶ谷村内

真如堂門前

吉田村

田中村

高野川村

宇治郡第壹區

日岡村内

字一切經ヨリ

字鴨土マテ

葛野郡第壹區

西ノ京村

唐橋村

梅小路村

西鹽小路村

同郡第三區

大北山村

小北山村

紀伊郡第壹區

福稻村内

元東福寺村

右村々工郵便物集配之儀今般市中集配ニ組込午前第六時午后第一時  
兩度集配相成候條爲心得管内無洩相達者也

第六十二號 六月十八日 地券紛失ノ事ニ付畧ス

番外第廿三號 六月十九日 諭達

第六十三號 六月廿日 (十三年第三百四十一號ヲ以廢置)

第六十四號全上 (十三年第四百八十二號ヲ以改正)  
第六十五號全上 地券紛失ノ事ニ付略ス  
第六十六號全上 印鑑紛失ノ事ニ付畧ス  
第六十七號全上

本年二月第三十四號ヲ以東京三田育種場農産會市開設ニ付開布手順等布達致置候處尙亦廣シ全國ノ良種交換スヘキカ爲メ別冊交換規則勸農届ヨリ相廻リ候條農業勸誘之趣意ヲ体シ別冊篤ト遂熟覽可致出品事但出品荷物運搬等ノ費用ハ出品人ノ自費タルヘシ右之通管内無漏相達スル者也

(別紙略ス)

番外第二十三號全上 小學校一般(十二年番外第二號ヲ以改正)  
第六十八號 六月廿一日  
第六十九號全上 地券紛失ノ事ニ付畧ス

第七十一號 六月廿二日 失踪人搜索ノ事ニ付略ス

第七十二號 六月廿四日 地券紛失ノ事ニ付略ス

番外第二十四號 六月廿六日

身代限リ處分ヲ請ル者國稅府稅并民費等不納之有無取調未納有之候ハ、揭示初日ヨリ遲ク共必五日間ニ本府或ハ支廳へ可届出候事右之通各區々戸長へ無漏相達スル者也

番外第二十五號 六月廿六日 區戸長(十三年第四百七十九號ヲ以取消)

第七十五號全上 地券紛失ノ事ニ付略ス

第七十六號 六月廿七日 △ 地券紛失ノ事ニ付畧ス

第七十八號 六月廿九日 △ 郡一般 △ 地券紛失ノ事ニ付略ス

第八十號全上 地券紛失ノ事ニ付略ス

番外第廿七號 七月四日 市郡伏見愛宕葛野紀伊宇治乙訓各區々長 ○

番外第二十八號 七月三日 △  
 第三百八十三號 七月四日 (十三年第四百八十九號ヲ以改正)  
 第三百八十四號 七月五日 地券紛失ノ事ニ付畧ス  
 第三百八十五號 全上 △  
 第三百八十六號 全上 地卷紛失ノ事ニ付略ス  
 第三百八十七號 全上 (十二年第九百九號ヲ以改正)  
 第三百九十號 七月六日 地卷紛失ノ事ニ付畧ス  
 番外第二十九號 全上 社寺(十四年甲第三百三十二號ヲ以取消)  
 第三百九十二號 七月九日 地券紛失ノ事ニ付略ス  
 第三百九十五號 七月十一日 印鑑遺失ノ事ニ付略ス  
 第三百九十六號 七月十二日 △  
 第三百九十八號 七月十三日 (十二年第九百九號ヲ以改正)  
 第三百九十九號 七月十六日 地券紛失ノ事ニ付略ス

第二百號 全上 ○  
 番外第三十號 七月十五日 京都伏見市中 ○  
 第二百二號 七月十六日 ○  
 第二百六號 七月十七日 地券紛失ノ事ニ付畧ス  
 第二百七號 七月十九日 全上  
 番外第三十一號 全上 市郡各校(十二年番外第二號ヲ以改正)  
 番外第三十二號 全上 全上(全上)  
 第二百十二號 八月一日 △  
 第二百十三號 八月二日 △

明治九年四月五日第四百四十三號ヲ以相違候賣淫罰則中第六條左之  
 通改正候條此旨管内無漏相違スル者也  
 第六條 右罰金ハ警察費又ハ授産所ノ費用ニ充ツ可シ  
 第二百十五號 全上 地券紛失ノ事ニ付畧ス

第二百十七號 八月三日

第二百十九號 八月五日

第二百二十號 八月六日

第二百二十一號 全上

地券紛失ノ事ニ付畧ス

青森縣管下陸奥國津輕郡青森港竿燈費入津ノ船舶五拾石以上ニ限  
リ取立來候處自今五拾石未滿ノ船舶ヨリモ積石ヲ間ハス壹艘ニ付  
金六錢ツ、本月一日ヨリ滿五ヶ年間取立其後ハ右半額金三錢ツ、  
永年取立維持致シ候旨同縣ヨリ照會有之候條此旨管内船持共へ無  
洩相達スル者也

第二百二十三號 八月八日

第二百二十八號 八月十五日

地券紛失ノ事ニ付畧ス

近來蛇玉ト唱へ小兒ノ翫弄物ヲ販賣候者聞々有之右蛇玉ハ水銀燐  
等ノ劇毒ニ他品ヲ混和シ製シタルモノニ付此玉ニ火ヲ移ス時ハ忽

チ蛇ノ形ヲ顯シ其蒸氣ニ觸ル、ハハ病毒ヲ醸シ或ハ火傷ヲ受ケ若誤  
テ内服セハ下痢ヲ生ス其甚シキニ至ツテハ死ニ至ラシムルノ大害  
アル物ニ付右品販賣候義向後堅ク差止候此旨管内無洩相達スル者也

第二百廿九號 八月十七日

第二百三十號 全上

第二百三十一號 全上

番外第三十三號 八月十九日

番外第三十四號 全上

番外第三十五號 全上

第二百三十四號 八月廿四日

第二百三十五號 全上

製茶會議廢止ノ事

地券紛失ノ事ニ付略ス

(本年第三百二十七號ヲ以改正)

市郡各校(十二年番外第二號ヲ以改正)

全上(全上)

社寺在來之建物修繕建添取疊及現在境内へ建物致候節一々可願出  
ハ勿論之儀ニ候處自儘ニ取計候向モ有之哉ニ相聞候不都合之事ニ



候條以來ハ必ス繪圖面ヲモ相添其都度願書差出許可之上可取計候事  
右之通管内社寺へ無洩相達スル者也

第二百三十六號全上 有祿士民へ △

第二百三十七號全上 八月廿七日 地券紛失ノ事ニ付略ス

第二百三十八號全上 全上

第二百三十九號全上 全上

第二百四十號全上 八月廿九日

第二百四十一號全上 八月三十日

第二百四十二號全上 八月廿一日 諭達

第二百四十六號全上 九月四日 地券紛失ノ事ニ付略ス

第二百四十七號全上 九月四日 地券紛失ノ事ニ付略ス

第二百五十號全上 九月七日

各寺院ニ於テ執事其外寺役申付候節ハ其人休履歷書相添前以當府

へ伺出之上可取計候事

但是迄申付有之者ハ其姓名履歷等可届出候事

右之通管内寺院へ無洩相達スル者也

番外第三十六號全上

市街點燈之義明治九年十月當府番外拾五號布達點燈規則ニ照準シ  
於點燈局取扱來候處今度上下京各區ヨリ氣燈資本ノ積立法方相立  
各區町ニ於テ街燈點火引受度願出聽届候ニ付本月八日ヨリ右各區  
ニ於テ可取扱義ニ候間此段爲心得上下京市中へ無洩相達スル者也  
(十二年番外第十八號參看)

番外第三十七號全上 九月十日

當地入京之外國人へ宛テ各地ヨリノ信書郵便局へ相達候處往々届  
先京都ト而已ニテ止宿所等詳記無之ニ付取調中遷延便宜ヲ關キ候  
儀不尠旨ニテ今般郵便局ヨリ照會之趣有之候條以來旅宿渡世之者

ハ勿論其他ト雖モ外國人ヲ止宿爲致候ハ、其者之本國姓名及ヒ何月何日ヨリ止宿爲致候旨宿主區町名姓名ヲ詳記シ郵便局へ可相届右届書ハ無稅之答ニ付切手或ハ郵便端書ヲ用ルニ不及在合セ之紙ニ認メ最寄郵便函へ差入可申尤發足之節モ同様可取計此旨京都市中へ無洩相達スル者也

但府廳へ之届書警察分署へ差出候儀ハ從前之通變ル義無之候事

第二百五十一號 九月十一日 地券紛失ノ事ニ付畧ス

第二百五十三號 九月十三日 △

第二百五十九號 九月廿一日 ○

第二百六十號 全上 (本年第三百六十一號ヲ以廢止)

第二百六十一號 九月廿三日 ○

第二百六十七號 九月廿七日 △

第二百六十八號 九月廿八日 △

各社寺現境内并所有地之竹木等伐採候節ハ看主之者自儘ニ可遣拂筋ニ無之候條向後ハ勿論近頃既ニ伐採候向ト雖モ其品賣却代金數及費用方詳細可届出事  
右之通管内社寺へ無洩相達スル者也

第二百六十九號 全上 △

第二百七十一號 全上 諭達

第二百七十四號 九月三十日 ○ 地券紛失ノ事ニ付略ス

第二百七十五號 十月一日 △ 地券紛失ノ事ニ付略ス

第二百七十六號 全上 △

第二百八十二號 十月二日 ○ 地券紛失ノ事ニ付略ス

第二百八十三號 十月四日 ○ 地券紛失ノ事ニ付略ス

第二百八十六號 十月五日 ○  
本年第二十七號布達市郡女紅師規則第二條中三級以上ノ試験ニ當

ラサル者ハ女紅師トナル紅ノ下師ノ上ヘ(場教)ノ二字ヲ増加候條心得ノ爲メ管内無洩相達スル者也

第二百八十八號 十月六日 △

第二百九十二號 十月八日 △

第二百九十四號 十月十一日 △

第二百九十五號 十月十二日 △

明治九年第二百四十三號ヲ以テ及布達置候驅繼規則第十二條中(又他行ノ者ハ第三號ノ通届出歸着早速療病院ニ出テ檢繼ヲ受ク可シ)ノ三十字ヲ削除シ及ロ第三號書式廢シ候事  
右之通管内無洩相達スル者也

第二百九十八號 全上

京都裁判所管内丹波國天田郡福知山ヘ區裁判所設置候ニ付管内區董事務權限左之通更正福知山區裁判所來ル廿一日開廳事務取扱候

十四年  
二百五  
十  
一號  
ヲ以  
改正

條此旨可相心得候事

京都裁判所長

明治十一年十月十一日

判事增戸武平

一本廳

分轄

山城國 一圓

丹波國 二郡 船井田

本廳直轄

一園部區裁判所

分轄

丹波國 二郡 桑井田

一宮津支廳

分轄

京都府布達要綱

明治十一年

九月

丹後國 一圓  
丹波國 二郡何鹿 天鹿

官津支廳管轄  
一官津區裁判所

分轄

丹後國 四郡竹野 中野 熊野 與謝  
同 加佐郡ノ内第三區ヨリ第十二區マテ

同

一福知山區裁判所

分轄

丹波國 二郡天鹿 何鹿  
丹後國加佐郡ノ内第一區

一福知山區裁判所(十三年第百八十八號ヲ以事務權限改正)

右之外管内各支廳區裁判所區畫權限總テ從前之通り  
右之通管内無洩相違スル者也

- 第百九十九號 十月十二日 △
- 第三百五號 十月十九日 △
- 第三百六號 十月廿一日 ○
- 第三百七號 十月廿二日 △
- 第三百八號 十月廿四日 (十三年第四百八十九號ヲ以改正)
- 第三百十一號 十月廿六日

華士族ノ輩除族ニ處セラレシ者妻子編籍方并平民ノ内夫婦別籍イ  
 タシ居候者別籍不相成義ニ付一籍ニ引戻シ左貳箇條之通相心得右  
 規則ニ不適者於有之ハ來ル十一月三十日限引直シ其旨可届出候事  
 第一條 婦ハ固ヨリ夫ノ身分ニ從フ者ニ付夫除族ノ上ハ其夫ニ  
 從ヒ平民タルヘキ事

但離縁スル時ハ此限ニ非ス

第二條 除族前出生ノ子ハ本族ヲ有スベク除族後出生ノ子ハ平民タルヘキ事

右之通管内無洩相達スル者也

第三百拾二號

十月廿六日

△

番外第四拾號

十月廿八日

管内各小學校(十三年番外第四號ヲ以當分差止)

第三百拾五號

全上

酒造營業人(十三年第四百七十九號ヲ以取消)

第三百拾八號

十月廿一日

△

第三百拾九號

十一月一日

地券紛失ノ事ニ付略ス

第三百二十三號

十一月五日

全上

第三百二十四號

十一月六日

金祿公債所有者

△

第三百二十七號

十一月十一日

本年八月第二百三十一號ヲ以諸商取締規則相達置候處今般別紙之通

改正候條此旨管内無洩相達スル者也

(別紙)

八商取締規則

第一條

第一項 質商(十三年第三十一號ヲ以増加)

第二項 古手商

第三項 古金商

第四項 潰シ金銀商(十三年第三十一號ヲ以増加)

第五項 古道具商

第六項 紙屑商

第七項 古本商

第八項 古着 古道具 糶市商

第二條

右商業ノ者ハ警察分署部内ノ區内一商毎ニ組合ヲ立テ取締一名ヲ置キ組合中諸事取締ス可シ尤多人數ナルハ二名又ハ三名ヲ置可シ

但從前古木古金連商ノ鑑札下付セシ分ハ古金商ノミ取締人ヲ置ヘシ且各商是迄組合ヲ立ルモノハ更ニ設立スルニ不及伎區内ニ涉ルガ如キハ其區々へ届置可シ

第三條

取締ハ組合姓名簿ヲ製シ姓名等詳細記載シ銘々實印ヲ捺シ其所轉分署へ差出置可シ

第四條

此商ヲ開業スルモノハ居商行商ノ區別ヲ明記シ區戸長并取締奥印ヲ以テ勸業場又ハ支廳へ願出鑑札申受ヘシ尤鑑札料金廿五錢ヲ納ム可シ

但去ル明治九年當府第四百三十四號達ニヨリ鑑札付與セシ中行商ヲ兼ヌル者ハ第十條ノ手續ニヨル府稅上納方ハ從前ノ通タルヘキ事

第五條

轉業廢業住所移轉代替リノ節ハ鑑札書換或ハ鑑札返納ノ儀勸業場又ハ支廳へ申出其時々分署へモ届出可シ

第六條

居商ハ店頭ニ看板ヲ掲ケ行商ハ鑑札ヲ携帯ス可シ

第七條

無鑑札并組合へ加入セサル者ハ商業決テ不相成候事  
但山城郡中并丹波丹後等ニテ同商少ナク組合難相立地ハ此限ニ非ス

第八條

鑒札ヲ他人ニ貸與ヘ或ハ借受ケ商業不相成事

第九條

朝市夜市出店ノ節家族手代雇人等ヲシテ行商ヲ爲サシムルモノハ其人名ヲ詳記シタル鑒札ヲ戸主ヨリ人別毎ニ申受ク可シ

第十條

居商ニシテ行商ヲ爲スモノハ兼業ノ鑑札ヲ受ク可シ

但從前鑑札ヲ受候内行商ヲ兼業スル者ハ其旨勸業場又ハ支廳ヘ申出行商鑑札ヲモ受ク可シ

第十一條

各商共賣買明細帳ヲ製シ無遺漏記載シ警察上取調ノ用ニ供ス可シ

但居商行商ヲ兼ヌルモノハ別ニ行商ノ帳簿ヲ製ス可シ

第十二條

品觸帳ヲ製シ置キ巡查ヨリ回達スルモハ詳細書留置可シ

第十三條

賣買帳ハ紙數ヲ記載シ其警察署警部ノ見認印ヲ受ク可シ(十二年

第四百七號ヲ以第十三條中文字增加)

第十四條

質入主賣主等住所姓名等熟知セサル者ハ証人爲相立兩人ノ連判ヲ取置ヘシ尤証人ハ男女ヲ論セス住所姓名等ヲ知ルモノニ限ルヘシ

第十五條

質入主賣主等怪シク見受タルモハ手段ヲ以テ留置キ警察署又ハ最寄ノ分署或ハ巡行ノ巡查ヘ速ニ訴出ヘシ

第十六條

品觸ニ類似ノ物品アラハ速ニ前條ノ通り訴出可シ

第十七條

第一條ニ掲クル各商業ヲ成ス者途中ニ於テ物品買取節モ第十四

條第十五條ノ手續ヲ成ス可シ  
第十八條

取締ハ勿論各商共此規則ニ違背シ其他不正ノ所業ヲ爲ス者アラハ所轄警察署或ハ分署へ訴出ヘシ

第十九條

此業ヲ開業シ新ニ組合ニ加入スルモノ有ルハ種々ノ名目ヲ以金錢等取集ル儀不相成事

第二十條

各商共取締ノ儀ハ同業ノ内婦女幼年ノ戸主ヲ除キ同業中月次輪番相立取締スヘシ交代時々分署へ申出ヘシ

第二十一條

不正品ト心付キ品觸ヲ待タズ届出他日不正タルヲ判然シ或ハ品觸ノ品ト同品タルヲ見認該人留置届出ル者ハ相當ノ賞アル可シ

第三百二十八號

十一月十二日

(十三年〇百九號ヲ以改正)

番外第四十一號

十一月十三日

△

第三百二十九號 全上

明治九年當府第三百八十五號ヲ以違式註違條例及布達候處今般別紙之通改正候條管内無漏相達スル者也

(別紙)

違式註違條例

第一條 違式ノ罪ヲ犯ス者ハ七拾五錢ヨリ少カラス壹圓五十錢ヨリ多カラサル科料ヲ追徴ス

第二條 註違ノ罪ヲ犯ス者ハ五錢ヨリ少ナカラス七十錢ヨリ多カラサル科料ヲ追徴ス

第三條 違式ノ罪ヲ犯シ資力ナキ者及ヒ科料ヲ出スルヲ肯ンセサル者ハ拘留ニ處スルヲ左ノ如シ

十四年甲  
二百四十  
九號ヲ以  
改正



(本年第三百八十七號ヲ以違式ノ下註違ノ二字増加)

一違式拘留 五日ヨリ少カラス

一註違拘留 半日ヨリ少カラス 四日ヨリ多カラス

第四條 違式並註違ノ罪ニヨリ取上クヘキ物品ハ科料ヲ科スルノ外別ニ沒收ノ申渡ヲ爲スヘシ

第五條 違式註違ノ罪ヲ犯シ人ニ損失ヲ蒙ラシムル者ハ先ツ其損失ニ當ル賞金ヲ出サシメ後ニ科料ヲ命ス可シ

第六條 違式ノ罪目ヲ犯スト雖モ情狀輕キハ減等シテ註違ノ科料ヲ徵シ註違ノ罪目ヲ犯スト雖モ重キハ加等シテ違式ノ科料ヲ徵スヘシ其犯ス所極メテ輕キハ止メ呵責シテ放免スルコアル可シ

違式罪目

第一條 價造ノ飲食物并腐敗ノ食物ヲ知テ販賣スル者

第二條

第三條 [十二年第三百十八號ヲ以删除]

第四條 往來又ハ下水外川中等ヘ家作并庇孫等ヲ自在張出シ或ハ河岸地除地等ヘ無願家作スル者

第五條 市街并郡中街道筋人家普請或ハ修覆ヲ加フル節溝洫之外或ハ溝中ヘ無願板圍ホスル者

第六條 市中町々家作并ニ高塀板圍ホヲナス者町并壹間ヲ引退キ可建構ヲ背ク者

第七條 無願神佛開扉スル者又ハ新ニ佛像石塔等ヲ無届建立スル者

第八條 春蠶及ヒ其類ノ諸器物ヲ販賣スル者

第九條 無免許角力芝居狂言等ヲ興行スル者

第十條 (十二年第三百十八號ヲ以删除)

第十一條 病牛死牛其他病死之禽獸ヲ知テ食料ニ販賣スル者

第十二條 (十二年第百十七號ヲ以改正)

第十三條 家畜ノ禽獸類傳染病ニテ斃レ又ハ其病根不分明ニテ斃  
レタル燒捨ス或ハ押隠シ販賣スル者

第十四條

十二年第三百十八號ヲ以テ刪除

第十五條

第十六條 (十二年第五百五十六號ヲ以テ刪除)

第十七條

身體へ刺刺ヲナス者

第十八條

男女入込ノ湯ヲ渡世スル者

第十九條

市街或ハ街道等ニテ袒裼裸體醜体ヲ露ス者

第二十條

男女相撲並蛇遣ヒ其他醜體ヲ見世物ニ出ス者

第二十一條

乘馬ノ猥リニ馳驅シ又ハ馬車ヲ疾驅シ行人ヲ觸倒ス者

但殺傷スルハ此限ニ非ス

第二十二條

火事場ニ關係ナクシテ其場所へ乘馬ノ儘入ル者

第二十三條

外國人ヲ私ニ雜居セシムル者

第二十四條

旅行免狀ヲ持タサル外國人ヲ私ニ止宿セシムル者

第二十五條

夜中無燈ノ馬車ヲ以テ通行スル者

第二十六條

人家稠密ノ場所ニ於テ妄ニ火枝ヲ玩フ者

第二十七條

戲ニ往來ノ常燈臺ヲ破毀スル者

第二十八條

牛馬及ヒ車止ノ掲示アル道路橋梁ヲ犯シテ通進行スル者

第二十九條

川堀下水等へ土芥瓦礫等ヲ投棄シ及ヒ流通ヲ妨ケ或ハ  
人害トナル氣物ヲ投棄スル者

第三十條

他人持場ノ海池川沼ノ藻類ヲ斷ナク採採ル者

第三十一條

他人ノ持場又ハ免許ナキ場所ニ魚藥ヲ設クル者

第三十二條

毒藥激烈氣物ヲ以テ魚鳥ヲ捕フル者

第三十三條

他人分ノ田水ハ勿論組合持ノ田水ヲ斷ナク自恣ニ我田  
ニ引入ル者

第三十四條

他人ノ持場ニ入り箒或ハ簞類ヲ斷ナク採リ去ル者

- 第卅五條 他村又ハ他人持場ノ秣或ハ苗代草等ヲ斷ナク刈採ル者
- 第卅六條 掘傍場ヲ汚損シ并其圍ヲ破毀スル者
- 第卅七條 堤ヲ壞テ又ハ斷ナク他人ノ田園ヲ掘ル者
- 第卅八條 道敷内ニ菜蔬豆類ヲ植或ハ汚物ヲ積ミ往來ヲ妨クル者
- 第卅九條 婚姻祝儀等ノ節事故ニ托シ往來又ハ其家宅ニ妨害ヲナス者
- 第四十條 馬夫或ハ日雇稼ノ者等仲間ヲ結ヒ他人ノ稼ヲナスニ故障スルモノ
- 第四十一條 神佛祭事ニ托シ人ニ妨害スル者
- 第四十二條 他人ノ墓碑ヲ毀損スル者
- 第四十三條 官有ノ山林等ニ禁制ノ榜示アルヲ犯セシ者
- 第四十四條 官有或ハ他人ノ山林田畠ニ入り植物ヲ損害スル者
- 第四十五條 神社佛閣ノ器物類ヲ破毀スル者
- 第四十六條 村々雨乞晴乞等ヲ無願執行スル者

- 第四十七條 無願諸人ヲ集メ講話遊戲席ヲ設クル者  
但仕法講ト稱シ結構振鬪ノ爲メ集合スル等ノ類ハ此限ニ非ス
- 第四十八條 御用ト書タル小旗提燈等ヲ免許ナク猥リニ用ル者
- 第四十九條 他人ノ繫船ヲ無斷掉シ遊フ者
- 第五十條 (十二年第三百十八號ヲ以テ刪除)
- 第五十一條 村持自分持山ニ拘ラス目通三尺回以上ノ立木又ハ小樹タリト壹反歩以上ヲ無願伐採スル者
- 第五十二條 餉菓子杯賭盤面ニ筋ヲ引キ印ヲ付ケ勝負ヲ分チ小兒ヲ誘フ者
- 第五十三條 寸法ニ違ヒシ諸車ヲ以テ運轉セシ者
- 第五十四條 諸車破損修繕ヲ加フル節當府ノ檢印番號等ヲ取外シ又ハ自儘ニ堀ヌキ或ハ位置ヲ替フル節届出サル者
- 第五十五條 種痘規則ニ違フ者

第五十六條 免許ナクシテ按摩渡世ナシ及ヒ醫業ニ紛敷所業ヲ  
ナス者

第五十七條 續隨子ホルトソウウノ搾油ヲ諸油ニ混合賣買スル者

第五十八條 (十二年第三百十八號ヲ以テ改正)

第五十九條 男ニシテ女粧シ女ニシテ男粧シ或ハ奇怪ノ粉飾ヲナ  
シ醜体ヲ露ハス者

但俳優舞妓等ハ勿論女ノ着袴スルハ此限ニ非ス

第六十條 人ノ妻孥ニ酒宴ノ席ニ招カレ藝妓ニ紛敷所業ヲナス者

第六十一條 (十二年第三百十八號ヲ以テ刪除)

第六十二條 小學就學牌ヲ偽造セシ者

註違罪目

第一條 狹隘ノ小路ヲ馬車ニテ馳走スル者

第二條 夜中無燈ニテ諸車ヲ挽キ又ハ乘馬スル者

但陸軍ノ諸兵非常ノ警戒アル時ハ勿論平日隊伍ヲ組夜陰行進

及ヒ定制アル徽章ノ服帽ヲ着用ノ節ハ單騎ト雖モ此限ニ非ス

第三條 斟酌ナク馬車ヲ疾驅セシメテ行人へ迷惑ヲ掛ケシモノ馬

第四條 馬車及ヒ人力車荷車等ヲ往來ニ置キ行人ノ妨ヲナシ及ヒ牛

馬ヲ街衢ニ横へ行人ヲ妨ケシ者

第五條 荷車及ヒ人力車行逢フ節行人ニ迷惑ヲ掛ケシ者

第六條 荷車及ヒ人力車等ヲ並へ挽キ通行ヲ妨ケシ者

第七條 行人ニ強テ車馬駕籠等ヲ勸メ過言ヲ申掛ル者

第八條 諸車無番號ノ儘運轉シ并人乘車夫提燈無事故區名番號ヲ

記セサル者

但途中破却或ハ途中ニ於テ不得止借受タルモノハ此限ニ非ス

第九條 禽獸ノ死スル者或ハ汚穢ノ物又ハ塵芥ヲ往來等へ投棄ス  
ル者

第十條 糞忽ニ依リ人ニ汚穢物及ヒ石礫等ヲ抛瀆キシ者

第十一條 婦人ニテ謂レナク斷髮スル者

第十二條 (十三年第四百四十六號ヲ以改正)

第十三條 (十二年第三百十八號ヲ以刪除)

第十四條 市中往來筋ニ於テ便所ニ非サル場所ニ大小便スル者

第十五條 宿屋渡世ノ者止宿人名ヲ記載セス或ハ之ヲ届出テサル者

第十六條 (十二年第三百十九號ヲ以刪除)

第十七條 宿引ト唱ヘ無實ノ言ヲ以テ旅人ニ迷惑ヲ掛シ者

第十八條 行人ニ合力等ヲ申掛ル者

第十九條 往來筋ノ番號又ハ人家ノ番號名札看板等ヲ戲ニ破毀スル者

第二十條 往來常燈ヲ戲ニ消滅スル者

第二十一條 噪鬪口論及ヒ人ノ自由ヲ妨ケ且驚愕ス可キ騒動ヲ爲シ

出セル者

第廿二條 猥ニ他人ノ爭論ニ荷擔スル者

第廿三條 田園種藝ノ路ヲキ場ヲ通行シ又ハ牛馬ヲ率入ル者

第廿四條 牧場外猥リニ牛馬ヲ放テ飼スル者

第廿五條 誤テ牛馬ヲ放テ他人田圃及ヒ物品ヲ損害スル者

第廿六條 誤テ牛馬ヲ放テ人家ニ入レシメシ者

第廿七條 牛馬率綱三尺ニ限ルヲ背ク者

第廿八條 (十二年第三百十八號ヲ以改正)

第廿九條 總テノ標柱ニ牛馬ヲ繫キ或ハ破毀スル者

第三十條 犬ヲ闘ハシメ及ヒ戲ニ人ニ嚇スル者

第三十一條 他人ノ獸畜類等ニ犬ヲ嚇シ掛ル者

第三十二條 飼犬ニ飼主ノ姓名札ヲ附ケサルモノ及ヒ狂病ニ罹ル犬ヲ其儘飼置キ他ノ人畜ニ妨害ヲナス者

- 第卅三條 巨大ノ紙鳶ヲ揚ケ妨害ヲナス者
- 第卅四條 醉ニ乘シ又ハ戯ニ車馬往來ノ妨碍ヲナス者
- 第卅五條 雜魚乾塲ニ妨害ヲナス者
- 第卅六條 他人ノ獵塲ニ妨害スル者
- 第卅七條 他人ノ魚塲等ニ妨害ヲナス者
- 第卅八條 田畝中ニ瓦礫竹木等ヲ投入ル者
- 第卅九條 養田水其外用水ニ妨害ヲナス者
- 第四十條 水車水碓等ニ妨害ヲナス者
- 第四十一條 水除杭ニ妨害ヲナシ又ハ之ヲ拔取ル者
- 第四十二條 他人ノ植籬垣ヲ損害スル者
- 第四十三條 神祠佛堂亦ハ他人ノ垣壁等ニ樂書ヲナス者
- 第四十四條 他人ノ竹木ニ妨害ヲナシ又ハ枝葉ヲ拾ヒ取ル者
- 第四十五條 他人ノ墳墓等ノ供物類ヲ猥リニ毀損スル者

- 第四十六條 往還ノ並木及ヒ苗木ヲ徒ラニ害スル者
- 第四十七條 (十二年第九十九號ヲ以テ刪除)
- 第四十八條 渡船橋梁ノ賃錢ヲ不拂シテ去ル者
- 第四十九條 橋柱ニ船筏ヲ繫ク者
- 第五十條 他人ノ曝網ニ妨害ヲナス者
- 第五十一條 (十二年第一百十七號ヲ以テ刪除)
- 第五十二條 往來或ハ山林原野ニテ徒ラニ火ヲ焚ク者
- 第五十三條 (十四年甲第八十二號ヲ以テ刪除)
- 第五十四條 山林又ハ田畑等總テ妨害ヲ防ク爲メ人ノ建私ヲナシタルヲ犯ス者
- 第五十五條 往來並木ノ枝ニ古草鞋ヲ投掛ル者
- 第五十六條 往來止揭示アル塲ヲ通行セシ者
- 第五十七條 ムサシアナ市ト號シ木寶石貝等ヲ以テ勝負ヲ争ヒ賭

博ノ様ヲナス者

第五十八條 社寺開扉及ヒ諸興行席等群集ノ場所ニ於テ人ノ自由ヲ妨ケ或ハ木戸錢ヲ拂ハサル者

但木戸錢ヲ取立興行主ニ下付ス

第五十九條 神佛開扉ノ節寶物弘通或ハ角力芝居興行人ノ爲メ旗幟等該場外ニ猥リニ立ルモノ

第六十條 藥種并穀物其他店先往還へ簸出シ又ハ往來へ筵等ヲ敷キ乾シ物ヲナシ往來ヲ妨クルモノ

第六十一條 (十二年第三百十八號ヲ以改正)

第六十二條 (全上)

第六十三條 (十二年第三百十八號ヲ以刪除)

第六十四條 (十二年百六十一號ヲ以改正)

第六十五條 當府ノ制規アル提燈ニ紛敷印ヲツケ用ヒシ者

第六十六條 (十二年第三百十八號ヲ以刪除)

第六十七條 (十四年甲第四十二號ヲ以刪除)

第六十八條 紙屑買渡世ノ者目籠ヲ用ヒス或ハ標札ヲ附ケサル者

第六十九條 市街ニテ放歌詩吟其他高聲ヲ放チ歩行スル者

第七十條 (十二年第三百十八號ヲ以刪除)

番外第四十二號 十一月十九日 郡一般 △

番外第四十三號 十一月廿一日 山城全國童仙房支廳下除 △

第三百三十一號 全上

管内物産調之義去明治九年來廢止ニ相成候處右ハ勸業事務上緊要之件ニ付管下著名ノ物産ニ限リ其多寡取調候條自今每半季於各製造人別紙雛形ニ準據取調前半季六ヶ月分ハ其翌七月限リ后半季六ヶ月分ハ其翌年一月限區戸長ニテ取纏メ本府直轄ノ地ハ勸業場へ支廳所轄ノ地ハ該支廳へ可差出此旨管内へ無洩相達スル者也





陶磁器 清水、栗田、永樂、樂、鐵部、宇治、朝日、深草、御室、童山、房燒、燒、素燒、茶碗、急須、菓子器、花生、茶具、香爐、珈琲具、壺、水注子、等  
瓦及煉化石

紙類 色紙、千代紙、烏子紙、箔地紙、奉書、美濃紙、半紙、  
一閑張 食籠、文庫、机、茶盆、烟草盆、棚物、等

扇子團扇 御影堂扇、伏水扇、舞扇、漉扇、深草團扇、畫團扇  
筆墨刷毛類 書畫時畫筆、朱墨、糊刷毛、漆刷毛、等

細工人形及禽獸類 人形、毛櫃、禽獸、裸人形、武者人形、市松人、  
有職諸品 冠、烏帽子、裝束、末廣、塗物、指物、袋物、其外

象牙細工類  
裁縫諸品 太禮服、通常禮服、諸帽、洋服、男女衣服、諸袋物、帛紗  
剪綵類 額面、衝立、屏風、色紙、短冊、囊物、等

算盤及石盤

測量器 水準器、テナドライト、角度ヲ、見ル器、圖引道具類、等

度量器 天秤、量大、枰、曲尺、鯨尺、吳服尺、罫引道具、等

眼鏡類

龍吐水

木工指物類 簞笥、長持、桐火桶、指物、火鉢、戸棚、行燈、烟草盆、等

建具類 戸障子、襖、屏風、衝立、硝子障子、ベソキ塗諸建具、等

織機具 絹、篋、綿、篋、經、杵、佛製、模造織機、同紋穿機械、繅紡諸具、  
等

車細工類 馬車、人力車、輕運車、獨用車、地車、牛車、等

挽物類

石細工 橋、燈籠、手水鉢、石碑、等

錫細工 酒器、茶器、鉢、壺、等

七寶器

竹細工 翠簾、諸簾類、諸籠、扇骨、喇竿、箒、胡麻竹、花生、机、椅子、弓

鯨鱗諸細工 矢、箸等

彫刻物 金玉、水晶、象牙、竹根、諸印、文房具、書籍、木版、銅版

箔類 金、銀、銅、真鍮、錫、鉛、鋅、梨子、地鈔等

香具類 薰物、線香、煉香、印香、匂袋等

髮飾具 櫛、笄、金、銀、簪、花簪、縮緬、地髮飾、銀平紙、元結、雷形、砂金

化粧具 光、石、珊瑚、紅、白、粉、鏡、眉、刷、毛、紅、鏡、替、筆、五、倍、子、粉、洗、粉、

傘笠類 晴、雨、傘、日、傘、雨、傘、蝠、蝠、傘、網、代、笠、竹、皮、笠、等

提灯籠類 硝子、燈、共

籐細工 笠、筵、椅子、帽子、籠類、烟管筒、履物表、等

櫻櫛細工 繩、帶、靴、拭、紅、紋、袋、等

桐油合羽類

煙管

蚊帳 足袋、股引、脚半類

履物類 鼻緒、共、西洋形靴、革沓、雪駄、木履、等

琴三絃類細工 數寄屋諸道具

釣具網類 葭細工

革類 八幡、黑、菖蒲、革、軟革、硬革、毛皮、染皮、等

皮籠兩掛籠裏 疊表筵類

釀造品 酒、燒酎、美醪、銘酒、桑酒、白酒、醬油、醋、麴、萌、麥酒、等

絞油種油 白油、亞麻仁油、椿子油、等

飲食物類 蒸、菓子、干、菓子、蒸、餅、味、噌、納、豆、漬、物、類、香、煎、湯、葉、水

烟草刻煙草 卷煙草、紙卷煙草

舍密製煉物 水、糖、里、沒、那、堽、石、鹼、硫、化、鐵、硫、酸、鐵、ア、ル、コ、ー、ル

諸製藥 甘、消、石、精、吐、酒、石、沃、顛、憐、等

繪具 五倍子、蛤粉、梨皮、梨黃、澱、蒸脂、藍澱、本紅澱、礬紅、綠青、楊梅皮、陶磁釉料、珐瑯色料等  
美術製品 油畫、攝影、石版、銅版畫等

礦土及礦類 銀、銅、石灰、硫化鐵、礬、石、石炭、砥粉、燧石、水晶、泥炭、陶土、磁土、炭酸泉、食鹽等

第三百三十三號 十一月廿一日

△

第三百三十四號 十一月廿一日

地券紛失ノ事ニ付略ス

番外第四十四號 全上

丹後全國丹波四郡 △

番外第四十五號 全上

丹後全國金祿公債所有者 △

第三百三十九號 十一月廿八日

客年八月當府第貳百拾三號布達農產物特有物品之中エ本年ヨリ蠶種紙枚數并壹枚之通價調込成規之通可差出此旨管内エ無洩相達スル者也

但調書差出方遷延不相成様各區々長ニ於テ期限 十一年分ハ翌十二年一月中差出等

精々注意可致候事

第三百四十五號 十二月二日

△

第三百四十六號 全上

昨明治十年九月第二百三十號ヲ以テ及布達置候當府下西陣織物會所規則第四條中織物検査ノ上貼用スル証紙三種ノ綿緯証紙ノ一種今般都合ニ依リ綿緯ノ文字ヲ綿交ト改正致度段該會所ヨリ申出候ニ付改正爲致候條心得ノ爲此旨管内無洩相達スル者也

番外第四十六號 十二月七日

山城全國童仙房支廳下除ク △

第三百五十三號 全上

△

第三百五十四號 全上

△

第三百五十五號 十二月九日

本年第五十四號ヲ以テ盜難届記載方相達置候處尙品物肩書ニ商品歟又ハ不商品ニテ所持或ハ他ヨリ預リ品歟該理由等ヲ區別シ記載

可届出其他ハ從前之通ト可相心得此旨管内無洩相達スル者也(十四年甲第八十四號參看)

第三百五十九號

十一月

△

第三百六十號全上

△

第三百六十一號全上

當府<sup>九月</sup>第二百六十號ヲ以テ春秋二季祭日ハ各神社ニ於テ遙拜可致旨布達置候處來ル明治十二年ヨリ其儀ニ不及候條此旨管内無洩相達スル者也

第三百六十二號

十一月

管内人民之内逃亡失踪之者届出候節ハ失踪當日ヨリ滿六ヶ月尋并三十六ヶ月後ハ永尋等申付候處自今不及其儀逃亡失踪之節及ヒ歸宅之節詳細可届出候事  
但當府下ニ寄留之者<sup>日</sup>本文同様相心得可申事

右之通管内無洩相達スル者也(八年第四百廿五號參看)  
第三百六十三號全上

京都九門内 皇居附属地自今御苑ト相唱可申候事  
右之通管内ハ無洩相達スル者也

第三百六十四號全上

高知縣下土佐國第十大區五小區竜村崎山ノ岬端ニ人民私費ヲ以テ一箇ノ燈臺ヲ設置シ本年三月四日ヨリ點燈候ニ付テハ該港出入ノ船舶ヨリ別記之通取立候段同縣ヨリ通報有之候條此旨管内無漏相達スル者也

(別記)

- 一 五拾石積以內 壹艘ニ付金貳錢
- 一 五拾石以上二百石以內 拾石ニ付金七厘
- 一 二百石以上五百石以內 同 金五厘

一五百石以上  
一材木竹等筏物  
以上

同 金三厘五毛  
一床ニ付金貳錢

第三百六十五號 十二月十三日 各酒營業人 (十三年第四百七十九號ヲ以取消)

第三百六十六號 全上 △

第三百六十七號 全上

宅地開墾歛下之義ニ付明治九年二月當府第四拾六號ヲ以及布達置候處左之通更正增加相成候條爲心得管内無洩相違スル者也

第一條

地租改正後民有山野之險阻巖石等ヲ鑿平シ或ハ池沼之類ヲ埋堆シ其素地ノ全體ヲ變換シテ宅地トナシ非常ノ勞費アルモノハ費力ノ淺深ヲ審査シ相當年季ヲ定メ年季中素地ノ地價ニ據リ收稅シ其他河海湖水等ヲ無代下與シ之ヲ埋堆シテ宅地トナスモノハ相當免稅年季

ヲ附與スヘキモノトス

第二條

地租改正後民有ノ田畑及ヒ山野ヲ宅地トナスモノハ改正地價據置期限年度中ハ素地ノ稱ニ据ヘ置ヘシ

第三條

民有ノ山野池沼等耕地ニ開墾ノ許可ヲ得テ歛下年季中其持主ノ便宜ニヨリ宅地トナスモノモ年季中ハ耕地ト一般歛下地ニ据ヘ置ヘシ

第四條

荒地免稅年季中宅地トナスモノハ宅地トナリタル翌年ヨリ該宅地相當ノ池價ヲ定メ課稅スベシ

但池成沼成等ノ荒地ヲ埋堆シ宅地トナスガ如キ非常ノ勞費アルモノハ伺テ經テ其年季中免稅ニ据置ヘキモノトス

第三百六十八號 十二月十四日 (十三年第百八十九號ヲ以取消)

第三百七十號 全上

○

第三百七十四號

十二月十七日

△

第三百七十五號

十二月十八日

○

第三百七十七號

十二月十九日

陸軍省所轄土地家屋貸渡規則別冊之通改正候旨同省ヨリ達有之候條爲心得此旨管内無洩相達スル者也

(別紙略ス)

第三百七十八號 全上

(十二年第二百五十五號及十三年第百八十八號ヲ以改正)

第三百八十號

十二月廿三日

叙勳者履歷届出方心得別紙之通太政官賞勳局ヨリ通達ニ付爲心得此旨管内無漏相達スル者也

但從前勳等ニ叙セラレタル者ハ心得書第一條日數内ニ該局へ届ヘシ候事

(別紙)

叙勳者履歷届出心得

第一條 新タニ勳等ニ叙セラレタル者ハ第二條雛形ニ照準シ履歷

書相認メ

用紙美濃紙

二週間以内

往復日數ヲ除ク

ニ之ヲ賞勳局ニ届出ヘシ

但シ從前勳等ニ叙セラレタル者ハ此心得書承了ノ日ヨ

リ本文同様ノ日數内ニ届出ヘシ

第二條 履歷書雛形

本貫族籍元本貫元族籍

苗字名

年號月日

年號月日某國郡町村ニ於テ生

一任

某官

或ハ某職被仰付候事申付候事

但違書全文ヲ書載スヘシ

同上

京府府有遺要録

明治十一年

百九

一免 本官 或ハ某職被差免候事

但同上

同上

一叙 某位

但同上

同上

一内外御用出張 復命ノ時ヲモ書載スベシ

但同上

同上

一賞 典

但同上

同上

一責 罰

但同上

第三條

勳等ニ叙セラレタル者ハ第二條履歷書ノ廉届濟ノ後左ノ事項有之節賞勳局ニ届出ベシ用紙美濃紙

但届出期限ハ第一條ノ例ニ同シ

一現ニ官位アル者ハ轉免黜陟等有之節

但達書全文ヲ書載シ届出ヘシ

一非職ノ者新タニ任官叙位ノ命ヲ拜シタル節

但同上

一内外御用出張ノ命ヲ受ケタル節及ヒ復命ノ節

但同上

一賞典及責罰ヲ受ケタル節

但同上

一外國旅行ハ公私用ヲ不論發航及ヒ歸朝ノ節

一本貫族籍等轉換ノ節

一苗字名變改ノ節

一住所轉換ノ節

但叙勳ノ節ノ現住所ハ第二條履歷書ト共ニ届出ヘシ

一死亡ノ節

但遺族又ハ親戚ヨリ其管轄廳ヲ經テ届出ヘシ

第三百八十一號

十二月廿四日

地券紛失ノ事ニ付畧ス

第三百八十二號

全上

第三百八十三號

十二月廿三日

全上

第三百七十五號

十二月廿七日

(十四年四月改正)

第三百八十七號

全上

本年第三百二十九号布達違式註達條例中第三條(違式)ノ下(註達)ノ

二字ヲ脫漏候ニ付此旨管内無洩相達スル者也

十四年甲  
二百四十  
九號ヲ以  
廢止

第三百八十八號

十二月廿八日

府下窮民授産所へ他府縣下及管内ノ者等授産人授業上爲見聞來場  
之者汎愛互恤ノ情ヲ起シ施與物投シ度旨申出ル者有之候處右ハ一  
般不聞届義ト相心得居候者モ有之趣相聞候得共施與物之義ハ不苦  
候條有志之者ハ授産所掛へ可申出候事  
右之通管内無洩相達スル者也

第三百八十九號

十二月廿八日

飲食物ノ中毒及口藥物ノ誤用等ニ因リ死ヲ致スモノ有之節ハ其毒  
物ノ品名中毒ノ症狀并ニ死者ノ住所姓名等詳細記載シ衛生局へ可  
届出旨從内務省達有之ニ付向後右等之者有之節ハ治療セシ醫師又  
醫ニ托セサル中ハ其町村戸長ニ於テ受持醫務取締ニ協議シ精密取  
調本府或ハ支廳へ可届出若シ其毒物ノ成分判然難致分ハ現品相添  
可届出事



右之通管内無洩相達スル者也(十三年第三百七十七號參看)

○明治十二年京都府布達要約

第八號 七月八日 △

番外第一號 全上 郡中 △

第十三號 十一月十日

昨十一年七月第二百二號ヲ以相違候諸願届箇條之内第十五項私有地へ招牌ホヲフ等建設之節以來届出ニ不及候條内外國諸旗章ニ不紛様可相心得此旨管内へ無洩相達者也

第十四號 十一月十一日 地券紛失ノ事ニ付略ス

第十八號 十一月十六日 全上

第十九號 十一月十八日 △ 告諭

第二十五號 十一月廿一日 地券紛失ノ事ニ付畧ス

第三十一號 十一月廿七日 印鑑遺失ノ事ニ付畧ス

第三十二號 全上

第三十六號

一月廿九日

△

番外第二號

一月廿一日

明治八年七月當府布達第三百五十五號ヲ以テ小學教則校則改定相達置候處其後追々増加改正ノ廉々有之其都度相達候へ共尙又今般別冊修正候條此旨管内各校へ無洩相達者也

京都府下等小學教則（十三年第百七十六號ヲ以修正）

全 小學校則略干

番外第三號

二月五日

郡中

○

第四十三號

二月六日

植林ノ義ハ方今ノ急務ニ付既ニ樹木ナキ官有ノ山野ハ官民部分ヲ以テ仕付方布達相成候程ノ場合ニ於テ人民私有地若クハ共有ニ係ル地處ノ内再荏荒蕪ニ委スルカ如キモノ有之候テハ不相濟事ニヨリ今般人民適宜ノ部分ヲ立荒地仕付方別紙之通條例取設候條此旨

相心得至急施行可致候事  
右之通管内無洩相達者也

（別紙）

第壹條

各村人民ノ私有若クハ共有ニ係ル地ニシテ現状荒蕪ニ委シ所有主ニ於テ種樹ノ力ヲナキモノハ人民相互ニ貸借致シ地味相當ノ品ヲ植挿シ畢竟其利ノ幾分ヲ地主ニ與へ幾分ヲ仕付人ニ得ルノ方法ヲ以テ宜シク地力ヲ盡スヘキヲ要ス

但地味ニヨリ畑ニ致シ又ハ隣地ノ景況ニテ森林ニ嫌アルカ如キハ桑茶楮等適宜ニ仕付ヘシ

第二條

戸長ハ先ツ第一條ノ旨趣ヲ以テ全村人民ニ説明シ更ニ時日ヲ卜定シ伍頭等立會村内ノ荒地漏レナク點檢シ所有主ニ對シ事故ヲ推問

シ其入見込アル者ハ速ニ着手セシメ若之レナキカ如キハ舉テ部分仕付地トスヘシ

第三條

此部分方ヲ以テ仕付ヲ望ム者ハ第一號書式ニ照準シテ書面ヲ戸長役場ヘ差出シ其レカ調査乞テヘシ

第四條

戸長役場ニハ豫シメ此臺帳ヲ設置第二條ノ手順ヲ盡シタル已上ハ該部分地ノ番號字反別現状所有主等ヲ詳記シ一筆限餘白ヲ存シ仕付人出來ノ時該餘白ヘ部分高年限年月日人名ヲ記入シ第二號書式ニ照シ約定書ヲ出サシメ臺帳ヘ割印戸長役場印ナリシ當約定書面ヘ奥印ノ上本人ヘ付與スヘシ

第五條

此部分仕付ハ人民適宜ノ約束ニ成モノナレハ各自未タ事ニ慣レヌ

殊ニ現状荒蕪ニ委シアルカ如キ地處ナレハ容易ニ仕付人出來スヘカラス依テ第二條ノ手順ヲナシタル未仕付ノ投票ヲ要スルカ又ハ見込アルヘキ人名ヲ集會シテ貸借ノ約束ヲ遂ケシムルモノ戸長ノ責ニ付ス

第六條

部分地仕付ヲ望ム者アレハ戸長ヨリ該地主ニ達シ共ニ實地ニ就キ地質ヲ審究セシメ而後部分高及年限植種ノ品類員數ヲ協議セシメ約束ノ末第四條ニ照シ記帳割印ノ手續ヲナスヘシ

但仕付人他村ナレハ其本村ノ戸長ニ照會シ約定書ヘ連署ヲ要スヘシ

第七條

共有地部分仕付ハ總テ私有地ノ手續ニ同シケレハ戸長伍頭并村内重立タル者ヲ立會セ協議ヲ遂ケ臺帳ヘ記入シ貸付ヘシ

第八條

部分ノ制限ハ地味ノ善惡仕付ノ難易所望ノ厚薄ニ依テ各適宜ニ部分ヲ定ムヘシ尤桑茶楮等ノ如キ歲收ノ品ハ毎年収獲ノ期ニ臨ミ地主へ照會ノ上<sup>現品賣拂ハスル評價</sup>該約束ニ從ヒ配賦シ滿限ニ至レハ其仕付タル現品或ハ代價ヲ以テ最前ノ約束部分ニ照シ分配シテ返地スヘシ

### 第九條

部分ノ配賦ハ成木ノ上立木ノ儘分配スルアリ又伐木<sup>地主仕付人立會ニテノ</sup>上賣拂價額ヲ以テスルアリ各適宜タルヘシ  
但不得止事故アツテ地主ヨリ年限ヲ待ズ地所引戻シヲ要スレハ仕付人へ對シ種樹相當ノ代價及ヒ仕付手数料等ヲ償フヘク又仕付人ニ於テ約定年限内該地所ヲ返サントスルハ現木或ハ立木ノ儘ニテモ價額ヲ豫算シ最前約束ノ部分高ノ半額<sup>管ハハ八分ノ折半四分ヲ取ルカ如シ</sup>ヲ取テ其餘ハ地主ニ付與ス尤雙方協議戸長立會ヘシ

### 第十條

地租ハ部分仕付年限中タリトモ地主ヨリ相納メ且貸地料取立サルモノトス仕付人ハ專ラ開墾植種培養ヲ擔任スヘシ  
但貸借人ノ内自然身代限ノ處分ニ係リタルモノアルハ其讓受人ト起業ノ年度ヲ算シ前約ニ準シ更ニ約束ヲ立ヘシ

### 第十一條

植插ノ後樹木ノ成育ニ從ヒ下刈拔伐等ナスルハ前以テ戸長及地主ニ照會シ其認可ヲ得テ着手シ芟伐セシ樹木ハ最前ノ部分ニ照シ配賦スヘシ

但拔伐ハ木數ヲ改メ臺帳ノ員數ヲ減スヘシ

### 第十二條

仕付人ノ都合ニヨリ其仕付タル儘之ヲ他ニ讓ラントスルハ其事實ヲ地主ニ協議シ各連署<sup>仕付讓受人地主</sup>ヲ以テ戸長ニ届クヘシ戸長事由

ナ推究シテ之ヲ認可スル已上ハ臺帳へ其次第ヲ明記シ更ニ約定書  
ヲ改ムヘシ

但仕付タル樹木ヲ質入書入トスルガ如キモ本文ノ手續ヲナシ戸  
長ノ奥印ヲ乞フヘシ

第十三條

貸借約定ノ上ハ戸長其境界ヲ正シ四隅へ標杭ヲ建ヘシ  
但内務省布達部分仕付地ノ標木紛ヲシカラヌ様注意スヘシ

何郡何村字何反別何程四境界

第何號  
地主人何某

裏 何年何月植付

但標杭ノ大小ハ適宜タルヘシ

第十四條

此部分方ヲ以テ各村私有共有ノ荒蕪地來ル五月迄ニ悉皆貸借ノ約  
ヲ遂シメ戸長ヨリ區長ニ屆區長之ヲ纏メテ府廳ニ届出ベシ

第十五條

部分仕付地ノ内到底望人ナキモノハ全村ノ協議ニ付シ相當ノ部分  
ヲ定メ一村ニ引受テ着手スヘシ

但共有地ハ固ヨリ都合ニ及バスト雖モ部分ニヨリ仕付方負擔ス  
ルモノアレバ適宜ノ部分ヲ以テスルモ妨ケナシ

第十六條

各村荒地彌仕付濟ノ上ハ更ニ其旨ヲ届出掛リ官員ノ檢分ヲ受クヘシ

第一號書式

何郡何村何條某所有荒地第何號字何反別何程今般何ケ年限何部分  
之割合ヲ以テ借受何木仕付度候間此段宜御取計被下度候也

何 郡 何 村

年 號 月 日

何 條 某

何 郡 何 村

戶 長 御 中

第二號書式

約 定 書

何郡何村第何號荒地

字 何

何 郡 何 村

一反別何程

地 主 何 條 某

何樹 植付何程

何 郡 何 村

何樹 插付何程

仕 付 人 何 條 某

何樹 蒔付何程

此部分方

幾分

地 主

幾分

仕 付 人

但本年何月ヨリ來ル何年何月迄何夕年限地租ハ地主ヨリ  
相納培養保護仕付一切ノ費用ハ仕付人ヨリ支辨スヘシ尤  
借地料ハ無之事

右之條約今般取結候處確實也然ル上ハ何年何號御達荒地仕付方條  
例ニ隨屹度違亂無之依テ戶長連署之證爲取換置候處如件

年 號 月 日

地 主 何 條 某

何 郡 何 村

仕 付 人 何 條 某

戶 長

何 條 某

番外第四號 十二月 十二日

明治八年當府番外第三號布達二十條ノ外ニ左之通第廿一條追加候條上下京市中へ無漏相達スル者也

第廿一條 授業人後來自營良業ニ基カンガ爲メ資本爲積金日々稼高之内廿分一壹圓ニ付五錢ヲ化芥掛ヨリ集取シ之ヲ勸業場ニ預ク其翌月ヨリ月五朱ノ利子ヲ附シ追テ確乎見込有之起業候歟又ハ退業スルハ元利下ケ附候事

但預ケンヨリ三ヶ月以内ニ取戻スハ利子ヲ附セサル

第四十九號 二月十三日

第五十一號 全上 鑑札搜索ノ事ニ付略ス

第五十七號 二月十五日

第五十八號 二月十七日 (十三年第四百七十九號ヲ以取消ス)

第六十號 二月十八日

國立銀行損傷幣交換ノ儀自今他店ノ發行紙幣タリモ其所持主請求

次第各國立銀行本支店ニ於テ無差支互ニ交換可相成事

但本文各國立銀行本支店へ交換申出ツルモハ請求人ヨリ手数料切實等ノ類一切差出ニ不及儀ニ候事

右之通管内無洩相違者也

第六十一號 二月十八日 地券紛失ノ事ニ付略ス

第六十二號 二月二十日

士族家督相續養子貫籍替ノ儀是迄管轄廳へ出願シ來リ候處自今出願ニ不及直ニ戸長へ届出ヘシ

但廢嫡ニ屬シテ特許ヲ經ヘキモノハ從前ノ通りタルヘシ  
右之通管内無洩違者也

第六十五號 二月廿四日

第六十九號 二月十八日 地券紛失ノ事ニ付略ス

第七十號 三月十四日

京都府管内郡區町村制

京都府管内郡區

上京區 從前ノ上京ニシテ町數八百  
區長一名ヲ置

區役所

三町町

内

數ヶ町ヲ組テ三十三組トシ區即チ從前ノ一組トス上京區第壹組第二組ト

稱シ餘之ニ一組毎ニ戶長一名ヲ置

同

鹽竈町

下京區 從前ノ下京ニシテ町數八百  
區長一名ヲ置

數ヶ町ヲ組テ卅二組トス餘ハ上京區ニ準ス

山城國

郡役所

宇治郡 兩郡ノ町村數  
六十ヶ町村

久世郡

〔本年第六十  
三號ヲ以テ各郡  
役所位置改正〕

〔本年第六十三號ヲ以テ  
各郡毎ニ郡長ヲ置ク〕

内〔本年番外第廿五號ヲ以町村組合更定〕

各郡數ヶ町村ヲ組テ宇治郡二組久世郡四組トス餘ハ

上京區ニ準ス

乙訓郡〔本年第三百三十五號ヲ以組伊郡ト合併役所位置

改定〕

組伊郡〔本年第三百五號ヲ以第五組第六組分割及第三百三

十五號ヲ以伏見區設置紀伊乙訓兩郡合併〕

愛宕郡 村數五十三ヶ村  
郡長一名ヲ置

同 下 鴨 村

内

數ヶ村ヲ組テ三組トス餘ハ上京區ニ準ス

〔本年第三百五號ヲ以三組ノ内分準ス〕

葛野郡 村數六十ヶ村  
郡長一名ヲ置

同 太 秦 村

内〔本年番外第廿五號ヲ以各村組合更定〕



數ヶ村ヲ組テ三組トス餘ハ上京區ニ準ス  
綴喜郡村數四十二ヶ村  
郡長一名ヲ置 同 田邊村

内(本年番外第廿五號ヲ以各村組合更定)  
數ヶ村ヲ組テ五組トス餘ハ上京區ニ準ス  
相樂郡村數七十六ヶ村  
郡長一名ヲ置 同 木津村

内(本年番外第廿五號ヲ以各村組合更定)  
數ヶ村ヲ組テ六組トス餘ハ上京區ニ準ス  
丹波國

桑田郡分テ二郡トス  
南桑田郡從前ノ一區ヨリ四區ニ至ル内四區中ノ神吉村ヲ除ク村數九十一ヶ村郡長一名ヲ置

内(本年番外第廿五號ヲ以各村組合更定)  
數ヶ村ヲ組テ四組トス餘ハ上京區ニ準ス

北桑田郡從前ノ五區六區ニ神吉村ヲ加ヘ村數八十六ヶ村郡長一名ヲ置 同 周山村

内(本年番外第廿五號ヲ以各村組合更定)  
數ヶ村ヲ組テ二組トシ第一組ニ神吉村ヲ加フ餘ハ上京區ニ準ス  
船井郡村數百五十四ヶ村郡長一名ヲ置 同 園部

内(本年番外第廿五號ヲ以各村組合更定)  
數ヶ村ヲ組テ六組トス餘ハ上京區ニ準ス  
何鹿郡村數八十三ヶ村郡長一名ヲ置 同 綾部

内(本年番外第廿五號ヲ以各村組合更定)  
數ヶ村ヲ組テ五組トス餘ハ上京區ニ準ス  
天田郡村數百三十ヶ村郡長一名ヲ置 同 福知山

内(本年番外第廿五號ヲ以各村組合更定)  
數ヶ村ヲ組テ五組トス餘ハ上京區ニ準ス

同 福知山

同 福知山

同 福知山

同 福知山

丹後國

與謝郡 町村數百二十九ヶ

同宮津

内(本年番外第廿五號ヲ以町村組合更定)

數ヶ町村ヲ組テ五組トシ一組毎ニ戸長一名ヲ置即町村組左ノ如シ  
(町村名略之)

加佐郡 町村數百七十一ヶ

同舞鶴

内(本年番外第廿五號ヲ以町村組合更定)

數ヶ町村ヲ組テ七組トシ一組毎ニ戸長一名ヲ置即町村組左ノ如シ  
(山村名略之)

中郡 町村數四十九ヶ

同峯山

内(本年番外第廿五號ヲ以町村組合更定)

數ヶ町村ヲ組テ二組トシ一組毎ニ戸長一名ヲ置即町村組左ノ如シ  
(町村名略之)

熊野郡 町村數五十三ヶ

同久美濱

内(本年番外第廿五號ヲ以各村組合更定)

數ヶ町村ヲ組テ二組トシ一組毎ニ戸長一名ヲ置即町村組左ノ如シ  
(村名略之)

竹野郡 町村數七十ヶ

同網野村

内(本年番外第廿五號ヲ以各村組合更定)

數ヶ町村ヲ組テ三組トシ一組毎ニ戸長一名ヲ置即町村組左ノ如シ  
(村名略之)

以上

右之通編制候條此段管内無洩相達者也

第七十一號 三月十七日 (十四年甲第百十六號ヲ以改正)

第七十二號 三月十四日

今般郡區町村制定ニ付郡區長擔任ノ件々及戸長職務之概畧別紙之

通被相定候條爾後郡區長職權内之事務ニ付願伺届ハ該郡區長ノ名宛ヲ以テ同役所へ可差出候事

但各郡區役所開廳事務取扱日限之儀ハ追テ可相達候間當分從前之通可相心得候事

右之通管内無洩相達ル者也 (本年第八十五號第百卅三號第二百八十三號參看)

(別紙)

地方ノ事務郡區長ニ於テ處分シテ後知事令ニ報告スルヲ得ルモノ左ノ件々トス

- 第一 徵稅并地方稅徵收及不納者處分ノ事
- 第二 徵兵取調ノ事
- 第三 身代限財產取扱ノ事
- 第四 逃亡死亡絕家ノ財產處分ノ事
- 第五 官有地ノ倒木枯木ヲ賣却スル事

第六 電線道路田畑水利ニ障礙アル官有樹木ヲ伐採スル事

第七 河岸地借地檢査ノ事

第八 職遊獵願威銃願ノ事

第九 印紙罫紙賣捌願ノ事

第十 小學校學資金ノ事

右ノ外府知事縣令ヨリ特ニ委任スル條件

戸長職務ノ概目

第一 布告布達ヲ町村内ニ示ス事

第二 地租及諸稅ヲ取纏メ上納スル事

第三 戶籍ノ事

第四 徵兵下調ノ事

第五 地所建物船舶質入書入并ニ賣買ニ與書加印ノ事

第六 地券臺帳ノ事

第七迷子捨兒及ハ行旅病人變死人其他事變アルトキハ警察署ニ報知ノ事

第八天災又ハ非常ノ難ニ遭ヒ目下窮迫ノ者ヲ具狀スル事

第九孝子節婦其他篤行ノ者ヲ具狀スル事

第十町村ノ幼童就學勸誘ノ事

第十一町村内ノ人民ノ印影簿ヲ整置スル事

第十二諸帳簿保存管守ノ事

第十三官費府縣費ニ係ル河港道路堤防橋梁其他修繕保存スヘキ物ニ就キ利害ヲ具狀スル事

右ノ外府知事縣令又ハ郡區長ヨリ命令スル所ノ事務ハ規則又ハ命令ニ依テ從事スヘキ事

其他町村限リ道路橋梁用惡水ノ修繕掃除等凡協議費ヲ以テ支辨スル事件ヲ幹理スルハ此ニ掲クル所ノ限ニ在ラス

第七十四號 三月十七日

第七十四號 三月十七日

一昨十年十一月太政官第七十九號布告 當府第三百一十一號 租稅不納ノ者處分方

第四條府縣稅民費不納金之儀昨十一年太政官第十九號布告 當府第二百四號

有之候ニ付テハ財產公賣徵集スルモ猶不足スルハ其欠額ハ管内

一般ノ損失トシ賦課可致答候條此段管内へ無洩相達ル者也

第七十六號 二月廿五日

第八十號 三月一日

甲第三號

明治九年一月當省乙第五號達中醫師試驗科目等別册試驗規則ニ從

ヒ本年八月ヨリ可致施行此旨布達候事

但是迄及指令置候條項ニシテ該規則ニ抵觸致シ候分ハ廢止候儀

ト可相心得事

明治十二年二月廿四日

內務卿 伊藤博文

右之通達有之候就テハ去ル明治八年<sup>三月</sup>當府番外第十三號布達醫務條件中醫師試驗科目等本年八月ヨリ此規則ニ從ヒ施行候條試驗志願之者ハ規則第四條毎試驗期月ノ前月十日迄出願可致此旨管内へ無洩相達スル者也

(別冊醫師試驗規則略之)

番外第五號 <sup>三月一日</sup> 郡中 △

番外第六號 <sup>三月七日</sup> 山城八郡 △

第八十五號 <sup>三月十七日</sup>

今般第七十二號ヲ以テ郡區長擔任ノ件々相違候付テハ左之通可相心得此旨管内無洩相達ル者也

第四項逃亡死亡絶家ノ財産處分方ニ付心得

第一節 逃亡死亡ノ遺族ナキ者ハ伍組戸長ニ於テ親族<sup>借家人ナレハ其証人ヲモ</sup>集メ遺財ヲ調査シ締リテ付置其旨一同連署ヲ以テ<sup>郡區</sup>長ニ届ケ出可シ

但親族ナキ者ハ伍組戸長ニテ本文ニ準シ取計フ可シ

第二節 右ノ届ケニ依リ<sup>郡區</sup>吏員出張遺財調査ノ上伍組戸長ニ預ル

申ハ後証ノ爲メ預リ證書ヲ出ス可シ

第三節 右調査ノ申動植物或ハ腐蝕スベキ物件等アリテ貯藏ニ不便ナル品ハ吏員へ申談シ公賣シ代價ヲ以テ預リ置或ハ其動植物

ノ如キハ手数料ヲ定メ別ニ預リ人ヲ立ルモ妨ケナシ

第四節 逃亡死亡ノ者國稅或ハ地方稅ノ未納アラバ其金額ヲ戸長ヨリ<sup>郡區</sup>役所へ申出可シ

第五節 逃亡ノ者二十四ヶ月内ニ歸來スルカ又所在知レタル申ハ其<sup>郡區</sup>役所ニ具狀シ併セテ遺財預リノ解キヲ請フ可シ

第六節 預リヲ解カレタル上ハ本人ニ還付ノ手續ヲナシ請取證書ヲ取置可シ

第七節 逃亡シテ絶家スル者ハ二十四ヶ月ヲ過キ死亡シテ絶家ス

ル者ハ直ナニ伍組戸長立會親族等會同シ相續人ヲ立可キヤ否ヲ議ス可シ

但親族ナキ者ハ伍組戸長等ニテ議ス可シ

第八節 相續人定マリタルキハ戸籍ヲ改メ其旨連署ヲ以テ區長ニ届ケ出遺財預リノ解キヲ請フ可シ

第九節 預リヲ解レタル上ハ遺財相續人ニ引渡シ請取證書ヲ取置可シ

第十節 相續スヘキ者ナクシテ遺財アラハ處分方區長ニ稟議ス可シ

第十一節 逃亡死亡トモ第一條第二條ノ締リ付タル後ハ所有ノ地所家屋アラバ之ヲ他人ニ貸渡シ其貸料ヲ以テ國稅地方稅其他財產ニ係ル一切必用ノ入費ヲ支辨シ預リヲ解ル、并其精細計算書ヲ作リ區長ニ出ス可シ且借屋住ナラバ第二條ノ締リ付タル上ハ其家ヲ所有主ニ還付スルヲ得可シ

第十二節 逃亡ノ者二十四ヶ月ヲ過キ相續人ヲ立タル後本人歸リ

來レハ相續人ノ家族トシ且相續人ヨリハ先代ト稱シ歸來レル者ヨリハ相續人ト稱ス可シ

第十三節 失踪セシ者モ右ノ數條ニ準シ取扱フ可シ

第九項印紙罫紙賣捌願ニ付心得

第一節 証券印紙烟草印紙訴訟用罫紙賣捌度モノハ身元慥ナル証人ヲ立連印ノ上戸長ノ與印ヲ請ケ區役所ニ願出ツ可シ

第二節 賣捌願許可ノ上ハ看板ヲ渡ス可キニ付別紙一號式ノ請書ト二號式ノ明細短冊二枚ヲ區役所ニ出ス可シ

第三節 右許可ヲ得タル上印紙ヲ請下ルニハ其入用高種類書ヲ調へ別紙三號式雛形ノ如キ書面ヲ作リテ其税金ヲ税金預リ人へ相預ケ預リノ証印ヲ受テ后區役所へ納メ區長ヨリ領取證書ヲ受取ヘシ

第四節 税金後納ノ者ハ多ク高金三百圓ヲ限種類書ヲ以請取方可申出且其金高ハ品ニヨリ取捨スルヲアル可シ

第五節 右後納ノ者ハ一ケ月中賣捌高計算書ニ税金預ケ証書ヲ添  
翌月一日區郡役所ニ出ス可シ

但上納ノ税金預ケ方ノ順序ハ第三節ノ通りタルベシ

第六節 右ノ税金即納ノ者ハ其金高十分ノ一後納ノ者ハ百分  
ノ四手數料トシテ支給スヘシ

第七節 証券印紙五圓貳拾圓ノ兩種ハ買取人住所姓名ヲ記載致シ  
置翌年一月十五日マテニ區郡役所ニ届ケ出ツ可シ

第八節 休業或ハ廢業スルルハ証人連印戸長與印ヲ以テ届出并ニ  
看板返納ス可シ

第九節 右ノ場合税金即納ノ者殘印紙アリテ返納ノ儀願出ルルハ  
税金返戻ス可キニ付殘印紙ニ種類枚數書ヲ添區郡役所へ申出可シ

但印紙ノ表摺レ又ハ染ミ跡等ノ損シアル者ハ返納スルヲ得ス  
第一號式

今般 証券印紙煙草賣捌方願之通御許可之上  
印紙訴訟用罰紙

左之通被仰渡候

一 証券印紙訴訟用罰紙ハ其時々員數申上次第御渡相成候ニ付代金

即時上納致候節ノ外後金上納ノ節ハ月々賣捌高并殘高取調書一

ケ月限賣捌代金共上納可仕候且 証券印紙煙草賣捌候殘高員數

ハ何時ニテモ御檢査ヲ受可申事

一 証券印紙訴訟用罰紙平常不取締無之様大切ニ取扱候儀ハ勿論萬

一 水火盜難等ニ逢候共一切引請辨納可仕事

但非常ノ急出水又ハ烈風大火等ノ難ニ逢候節ハ其情實詳細相

認速ニ其段奉訴御指圖伺候様可仕事

一代金後納ノ節本人如何様ノ引負出來候ハ本人ニ不拘証人ニテ引

受無相違辨納可仕事

一御渡看板ノ儀ハ平日衆人目標ニ相成候様戸外ニ掲ケ置可申尤賣  
捌御免相願候歟又ハ休業仕候節ハ看板返上可仕事  
右被仰渡之趣承知奉長候依之証人連印御請書奉差上候以上

何府管下

何國何郡何村

賣捌人

何ノ誰印

全全

證人何ノ誰印

右戸長

何ノ誰印

何郡長何條某殿

第二號式

看板番號ヲ記載ス  
何郡何村何番地  
証券印紙賣捌所  
何業  
煙草印紙賣捌所  
何ノ誰印  
訴訟用罫紙賣捌所  
明治何年何月幾日出願何年何月幾日御許可

第三號式

用紙寸方共通宜

税金預リ人税金預リ証印

明治何年何月分  
何税  
一金何程  
印

右現金税金預人何ノ誰ニ相預ケ上納候也



年月日

何區何村

何ノ誰印

第八十六號 三月十七日

昨十一年七月第十九號 當府第二十四號 布告及同十二年三月二十九號 當府

第三百八十四號 布告地方稅規則改正之儀十二年度ヨリ施行致シ同年七月第

十八號 當府第三十四號 布告府會之儀同年度分ヨリ開設候條此段相違候

一右第十九號布告地方稅ヲ以テ支辨スベキ費目中第十項管内限諸

達書及揭示諸費并郡區役所ニ設置スル布告類揭示場新築修繕諸費

之外官費支出ニ係ル者ハ猶從前之通可下渡答候條此段爲心得相違候

右之通管内無洩相違ル者也

第八十七號 三月十四日

第九十三號 三月十日 (本年第三百廿六號ヲ以改正)

第九十八號 三月十二日

明治九年 四月 第四百四十三號ヲ以及布達置候賣淫罰則中第三條削除候條此旨管内ニ無漏相違者也

第九十九號 三月十二日

明治十一年十一月 中當府第三百廿九號 ヲ以テ及布達置候違式註違改正條例中違式罪目第四十七條ハ削除候條此旨管内無漏相違者也

第一百號 三月十三日

從來酒類ニ藥品ヲ配伍シ販賣ニ付賣藥免許鑑札下付致來候者又ハ賣藥ニモ算入セス藥品ヲ和シ藥酒又ハ健全料ト稱シ製造販賣候向モ有之右ハ醫藥ニ供スル別紙記載ノ品類ヲ除ノ外酒類ヲ和シ飲料ニ供スルモノハ假令藥品ヲ配伍スト雖モ總テ酒類稅則ニ據リ課稅可致候間製造人ハ勿論請賣人モ酒類稅則ニ準シ更ニ可願出候事但賣藥ノ分ハ是迄下付候印鑑返納可致事右ハ內務省大藏省ヨリ達ノ次第有之候ニ付管内無漏相違者也(本年

十四年甲  
二百九十  
一號ヲ以  
廢止

第三百三十四號參看

(別紙)

精劑

酒精

甘盞精

礪砂加阿魏精

芳香精

カヤフーワ精

桂皮精

蟻精

ラーヘンデル精

複方マスケツク精

ミールシア精

再留酒精

甘硝石精

複方白芷精

芳香礪砂精

龍腦精

絢綠皮精

杜松子精

複方ラーヘンデル精

英國縮葉薄荷精

肉豆蔻精

ホフマン氏鎮痛液

礪砂精

アチース精

複方アルモラシア精

コロ、フオルム精

山蒼菜精

複方杜松子精

檸檬精

椒性薄荷精 薄荷精

迷迭香精

石鹼精

双鸞菊精

實艾答利精

蕃木髓精

橙皮精

丁幾

亞爾蘇丁幾

双鸞菊丁幾

苦味丁幾

芳香丁幾

橙皮丁幾

荳蔻丁幾

ピユツユ丁幾

セルホルリ精

荳蔻精

菲沃斯精

アルニカ花精

芥子精

失鳩答精

蒿苣精

コロシクム實精

複方亞爾蘇丁幾

蘆薈丁幾

ボーマ氏苦味丁幾

阿魏丁幾

新鮮橙皮丁幾

安息香丁幾

泥莖丁幾

芳香酸丁幾

複方蘆薈丁幾(蘆薈沒藥丁幾)

アルニカ丁幾

亞的兒製阿魏丁幾

バルサム丁幾

複方安息香丁幾

コロシボ丁幾

|               |             |             |
|---------------|-------------|-------------|
| 複方龍腦丁幾        | 亞的兒製龍腦丁幾    | 芫菁丁幾        |
| 亞的兒製芫菁丁幾      | 蕃椒丁幾        | 益知丁幾        |
| 複方益知丁幾        | カスカリルラ丁幾    | 亞的兒製カストル丁幾  |
| カナダ産カストル丁幾    | シピリア産カストル丁幾 | 阿仙藥丁幾       |
| 褐色機那機那丁幾      | 赤色機那丁幾      | 複方機那丁幾      |
| キノイシチ丁幾       | キラタ丁幾       | 複方コロロホルム丁幾  |
| 黄色那丁幾         | 桂皮丁幾        | コーシチール丁幾    |
| ユルシタム丁幾       | 失鳩答丁幾       | サフラン丁幾      |
| 單澄茄丁幾(キムベバ丁幾) | 楳梓丁幾        | 石鹼丁幾        |
| 複方アルモラシヤ丁幾    | シキタリス丁幾     | 亞的兒製シキタリス丁幾 |
| 續隨子丁幾         | 醋酸鉄丁幾       | 鹽化鉄丁幾       |
| 亞的兒製鹽化鉄丁幾     | 林檎酸鉄丁幾      | 沒食子丁幾       |
| 複方ゲンチアナ丁幾     | 複方ケンチアナケ丁幾  | 癒瘡木丁幾       |

|            |            |              |
|------------|------------|--------------|
| 揮發性癒瘡木丁幾   | (確砂加癒瘡木丁幾) | 綠黎蘆丁幾        |
| ヘレニード丁幾    | 忽布丁幾       | ロオス丁幾        |
| ヨシウム丁幾     | 複方ヨシウム丁幾   | 脫色ヨシウム丁幾     |
| 吐根丁幾       | ヤーラツバ丁幾    | 複方ヤーラツバ丁幾    |
| キノ丁幾       | ラタニア丁幾     | ラリシス丁幾       |
| 複方ラーヘンタル丁幾 | (ラーヘンデル丁幾) | 檸檬丁幾         |
| ロベリア丁幾     | 亞的兒製ロベリア丁幾 | リュアリニア丁幾     |
| 肉豆蔻丁幾      | 亞的兒製肉豆蔻丁幾  | 麝香丁幾         |
| 沒藥丁幾       | 揮發鹽化鏷丁幾    | (ベスチエフ氏神經丁幾) |
| 蕃木髓丁幾      | 阿片丁幾       | 安息香阿片丁幾      |
| 舍電華謨氏阿片丁幾  | 單阿片丁幾      | 脫具阿片丁幾       |
| 礪砂精加阿片丁幾   | 地榆丁幾       | 複方松芽丁幾       |
| ピントリユム丁幾   | 括矢亞丁幾      | 規尼涅丁幾        |

|             |           |            |
|-------------|-----------|------------|
| 礪砂精加規尼涅丁幾   | ヤーラツハ脂丁幾  | 大黃丁幾       |
| 水製大黃丁幾      | 酒製大黃丁幾    | 大黃加旃那丁幾    |
| サピナ丁幾       | 麒麟血丁幾     | 海葱丁幾       |
| 加里加海葱丁幾     | 麥奴丁幾      | 遠志丁幾       |
| 旃那丁幾        | セルモンタリア丁幾 | 複方スピランナス丁幾 |
| 蔓陀羅華丁幾      | 亞的兒製馬錢丁幾  | 琥珀丁幾       |
| シユンアル丁幾     | ナユヤ丁幾     | トリユテナ丁幾    |
| トキシユテナンドリ丁幾 | 續草丁幾      | 亞的兒製續草丁幾   |
| 礪砂精加續草丁幾    | アアニルヲ丁幾   | 生姜丁幾       |
| 強生姜丁幾       | 亞的兒製荳蔻丁幾  | 亞的兒製失鳩答丁幾  |
| 亞的兒製菲沃斯丁幾   | 亞的兒製龍腦丁幾  | 白黎蘆丁幾      |
| 酒劑          |           |            |
| 蘆薈酒         | 苦味酒       | 芳香酒        |

|         |         |                  |
|---------|---------|------------------|
| 橙皮酒     | 龍腦酒     | 機那酒              |
| コロシクム酒  | コロシクム根酒 | コロシクム實酒          |
| 麥奴酒     | 鏡酒      | 枸橼酸鏡酒（枸橼酸        |
| アンモニア鏡酒 | 吐根酒     | メアシ子酒            |
| 大黃酒     | 海葱酒     | アンチモニー酒          |
| 煙草酒     | 酒石酸加里鏡酒 |                  |
| 以上      |         |                  |
| 第百二號    | 三月十七日   | 地券紛失ノ事ニ付畧ス       |
| 第百五號    | 三月十九日   | (本年番外第廿五號ヲ以更定)   |
| 第百六號    | 三月廿二日   | △                |
| 第百九號    | 三月廿五日   | (十三年第三百七十四號ヲ以改正) |
| 第百十號    | 三月廿六日   | △                |
| 第百十一號   | 三月廿七日   | △                |

十四年甲  
二百四十  
九號ヲ以  
廢止

第一百十二號全上 ○

第一百十三號全上 地券紛失ノ事ニ付略ス

第一百十四號三月廿八日 (本年番外第廿五號ヲ以更定)

第一百十七號四月一日

明治十一年十一月十一日 當府第三百二十九號ヲ以テ及布達置候違式註違條例中註違罪目第五十一條刪除シ違式罪目第十二條左之通改正候條此旨管内無洩相達者也

違式罪目

第十二條 往來ニテ死牛馬其他諸獸ノ皮ヲ剥キ肉ヲ解クモノ

第一百廿二號四月八日

府下盲啞院へ管内及他府縣之者盲啞授業參觀之際汎愛深恤之情ヲ起シ金品寄附致度モ出願手續不相心得候ヨリ終ニ其志ヲ空シクスル者不少哉ニ相聞へ候ニ付今後金品共盲啞院へ直ニ寄附差許候條

此段爲心得管内無漏相達者也

第一百廿四號四月八日 △

第一百廿五號全上 △

第一百廿九號四月九日 (本年第四百十二號ヲ以改正)

第一百卅一號四月十日 △

第一百卅二號全上 △

第一百卅三號全上 △

本年三月 當府第七十二號ヲ郡區長擔任ノ件々及口戸長職務概略相達置候處來ル廿一日郡區假役所開廳郡區長職權内ノ事務取扱候條此旨管内無洩相達者也

假役所位置

上京區 府廳内

下京區 同上

京都府市產要約

明治十二年

百卅二

紀伊郡 (本年第四百四十六號ヲ以改定)  
與謝郡 (同上)

船井郡 園部支廳内

愛宕郡 同郡第二組下賀茂村四十二番地

葛野郡 同郡第三組太秦村廣隆寺内

宇治郡 (本年第四百六十三號ヲ以各郡  
役所ヲ設ケ并位置改定)

乙訓郡 (本年第四百四十六號ヲ以改定)

綴喜郡 同郡第三組田邊村字棚倉

相樂郡 同郡第三組木津村正覺寺内

加佐郡 第四組舞鶴土井市兵衛持宅

天田郡 福知山出張所内

南桑田郡 同郡第一組下矢田村杉原七郎助持宅

北桑田郡 同郡第一組北賀江校内舊區務所

何鹿郡 (十三年第五百十二號ヲ以移轉)

熊野郡 同郡第二組久美濱稻葉市郎右衛門持宅

中郡 同郡第二組峯山增長院内

竹野郡 同郡第一組網野村舊區務所

第四百三十四號  
四月十一日

官有地第三種之内湖海沼池之類ヲ埋立耕地宅地等ニ自費開墾之  
節心得方左ノ通

一埋立期限内若シ其工業ヲ中止スルカ或ハ廢棄スルニ於テハ其時  
リ埋立許可ノ効ハ消滅スルモトス依テ最初定メタル期限ニ竣  
成シ能ハサル事情アラハ速ニ可申出詮議之上延期ヲ許可スル限  
事モ可有之事

右之通管内無洩相達者也

第四百三十五號  
四月十一日 (十四年第四十四號ヲ以廢置)

番外第七号全上 各小學校 (十三年番外第四號ヲ以當分差止)

番外第八号四月十日 郡中 △

第三百三十七号全上

明治九年當府第五百十八号ヲ以牛馬商取締リ條則相違シ置候處右詮議ノ筋有之取消候條此段管内無漏相違者也

番外第九号四月十二日

本年三月第七十二號ヲ以及布達置候郡長擔任ノ件々ヲ除ク之外一般人民ノ願伺届書ハ府知事ノ名宛ヲ以テ辨理之爲メ其郡役所ヲ經由スルモ無妨義ト可相心得候事

右之通丹波丹後管内へ無洩相違者也

第四百十四號四月十六日

明治六年當府番外第一号布達ヲ以獸獵ノ爲メ山中ニ陷穴ヲ作り或ハ石弩ヲ設ケ候義差止メ置候處詮議次第有之向後取消候事

但右ニ付陷穴等取設候節ハ明治六年三月太政官第八十五号布告但書之通堅ク相守可申事

右之通管内無漏相違者也

第四百十六號四月十七日

當府本年四月第三百三十三號布達郡區假役所位置之内與謝乙訓郡役所左之通改定候條此旨管内無洩相違者也

改正假役所位置

同郡第三組魚屋町

舊區務所

與謝郡 乙訓郡

(十四年第四十四号ヲ以改置)

番外第十号四月十九日

當府牧畜場所轄ノ畜牛別册貸與規則ニ照準洋和牛共良種蕃殖ノ爲メ人民ニ貸與候條望ノ者ハ本府或ハ勸業場又ハ牧畜場へ可願出候事

右之趣管内郡中へ無漏相違者也

(別冊)

貸與牛規則

第一條

一 今般牛貸與ノ法方取設候義ハ素ヨリ良種ヲメ蓄息盛大ナラシメ  
ントノ趣旨ニ候間借主ハ常ニ畜養方篤ク注意可致事

第二條

一 借主ハ受人相立甲號書式ニ倣ヒ願書差出スヘシ  
甲號書式 用紙美濃野紙

一 此牛 何頭

右拜借奉願上候以上

年號月日

願人

何 某

何郡何村

何郡何村

受人

何 某

京都府牧畜御中

第三條

一 願濟ノ上ハ乙號書式之通証書可差出事

(本年第二百九號ヲ以第三條中文字増加)

乙號書式

一 何毛 何頭

但何年何月生

右正ニ拜借仕候就テハ御規則之通萬事吃度可相守候也

何郡何村

願人

何 某

同

年號月日



京都府牧畜掛御中

請人

何 某

第四條

一 當歳ヨリ三歳迄ノ牝牛ヲ借用候者ハ牝牡ニ拘ラス出産之犢牛五頭ヲ上納スルニ至ラハ母牛ハ借主へ給與候事四歳ノ牝牛ノ借用候者ハ同斷四頭ヲ上納スルニ至ラハ母牛ハ借主へ給與候事五歳六歳ノ牝牛ヲ借用候者ハ同斷三頭ヲ上納スルニ至ラハ母牛ハ給與ノ事七歳八歳ノ牝牛ヲ借用候者ハ同斷二頭ヲ上納スルニ至ラハ母牛ハ給與ノ事

第五條

一 割牛ヲ借用候者ハ滿二歳ニ至ルマテ一月金十五錢宛ノ飼料給ス

第六條

一 割牛ハ滿二歳ニ至レハ耕耘運輸諸般ノ勞力ニ服事スルヲ以テ別段飼料ヲ給セス

第七條

一 割牛ハ滿五歳ニテ引上クヘシ

第八條

一 貸與ノ牝牛ニ交尾セシムル牝牛ハ牧畜掛ノ指揮ヲ受クヘシ

第九條

一 貸與牛病發候節ハ無遲滯治療相施便宜ヲ以テ其旨掛官員へ報知スヘシ

第十條

一 貸與牛生産斃死有之節ハ左ノ雛形ニ倣ヒ速ニ掛官員へ可届出事但シ斃牛ハ傳染病ヲ除クノ外兩耳ヲ截リ届書ニ相添可差出事雛形 半紙二ツ折

產生御届

一何毛北牛 何頭

但何歳斃牛ノミ歳ヲ記スヘシ

右今何日生産致相斃候間此段御届申上候也

何郡何村

年號月日

借主

何 某

同

請人

何 某

京都府改畜掛御中

第十一條

一傳染病ノ徵候アルキハ速ニ掛官員へ届出兼テ御達ノ通可取計事

第二條 (本年第二百九號ヲ以十二條中改正)

一此割牛價牛共斃死セシレ偽リ密賣又ハ他牛ト交換致間敷ヘ勿論

ニ候得共万一偽テ密賣シ又ハ交換候モノハ母牛割牛ハ原價金二倍追徴スヘシ價子ハ母牛ノ原價ヲ追徴シ猶其母牛ヲ引揚クヘシ

第十三條

一貸與牛畜養及ヒ取扱方等検査ノ爲改畜掛不時巡廻候條不都合無之様兼テ相心得可申事

右之條々若シ違犯候者ハ速ニ貸與牛取上次第柄ニヨリ別段處分可致事

第百五十一號四月廿二日

從來司藥場ニ於テ貼用スル檢明印紙ハ明治十年五月百四十七號ヲ以テ其雛形毒劇藥標記等及布達置候處今般左之通リ内務省衛生局ヨリ報告有之候ニ付爲心得管内無洩相違モノ也

從來司藥場ニ於テ貼用スル處ノ印紙ハ故意換貼ノ弊ナキヲ保シ難キヲ以テ今般新ニ印刷法ヲ改メタリ若シ之ニ水或ハ湯氣等ヲ浸シ濕潤セシムル時ハ忽チ其色質ヲ剝脫シテ文字不分明トナルモノナ

十四年甲  
二百四十  
九號ヲ以  
廢止

十四年甲  
二百四十  
九號ヲ以  
廢止

リ故ニ賣買人取扱ノ際深ク注意ヲ加フヘシ依テ此旨報告ス  
但シ當分從前之印紙ヲ取交セ貼用スヘシ最モ改製ノ分ハ帶狀印  
紙ヲ用ユルヲナシ以テ銷別スヘシ

第百五十二號

四月廿三日

地帯紛失ノ事ニ付略ス

第百五十三號

四月廿五日

○

第百五十六號

四月廿八日

本年四月當府第三百二十七號ヲ以テ牛馬商取締條則取削候就テハ明  
治十一年十一月同第三百二十九號ヲ以テ達置候達式註違條例中違  
式罪目第十六條刪除候條此段管内無洩相違者也

第百五十八號

四月廿八日

△

第百五十九號

四月廿九日

△

第百六十一號

五月二日

明治十一年十一月當府第三百二十九號ヲ以達置候達式註違條例中註

違罪目第六十四條左之通改正候條此段管内無洩相違者也

註違罪目

第六十四條 刃物類ヲ露刃ノ儘携へ往來スル者

第百六十三號

五月七日

府下郡區町村制定本年三月第七十號并郡區役所位置同四月第三百  
十三號以テ相違候處今般更ニ宇治久世ノ各郡ニ左ノ通郡役所ヲ置  
管治爲致候條此旨管内無漏相違者也

郡役所

宇治郡

醍醐村

同

久世郡

淀

第百六十四號

五月三日

今般京都中學教則并課業表別紙之通相定候條爲心得管内無漏相違

者也 (別紙略之)

番外第十一號 五月七日 山城國 △

番外第十二號 全上 丹後國中丹波四郡 △

第七十一號 五月九日

管下士族(緣組并離縁届)(出產名附届)(死去并忌引届)(轉宅他行并歸宅届)(從者雇入并ニ止宿届)之儀從前府廳并本籍戸長へ差出來候處以後府廳へハ差出スニ及ハス候條戸長へ從前之通無遲滯可差出候事 (十二年達番外十一號參看)

右之趣管内へ無漏相達者也

第七十二號 五月七日 (本年第二百五十五號ヲ以改正)

第七十三號 五月十日 (十三年第四百八十二號ヲ以改正)

第七十四號 五月十三日

伏見之儀ハ伏水トモ相認候處伏見ノ字ヲ用ヒ可申候事

右之通管内無漏相達者也

第八十號 五月十七日 △

第八十二號 五月廿一日

明治九年<sup>月</sup>當府第十八號及ヒ明治十一年<sup>月</sup>當府第二百二號ヲ以テ及布達置候各警察署及ヒ分署へ差出ス願届書類從前戸長ノ與印ヲ要シ來候處今般戸長減員ニ付以來左之通可相心得此旨管内へ無洩相者也

- 一 私有山林燒失届
- 一 拾ヒ物届
- 一 外國人止宿出立届
- 一 遊客届
- 一 犯罪告訴及告發
- 一 狂犬猛獸ノ害ニ逢ヒシ届
- 一 官私地内ニテ埋藏物掘得ル届
- 一 難破船漂流物届
- 一 止宿人及出立人届
- 一 犯罪吟味願
- 一 賊難及紛失品見當リ届
- 一 發狂人届

一流行病届

右戸長奥印ニ及ハス一名ニテ届ケ不苦候

一賊難及紛失物届

一遺失物届

一失火届

一犯罪人責付并遠足留中死亡届

一仕業人ノ知ハサル被傷人届

一家畜病死届

(右戸長奥印ニ及ハスト雖モ町村總代或ハ伍組頭ノ内奥印シ可差出)

(但至急ヲ要スルハ此限ニ非ス)

(十四年甲第百卅一號ヲ以廢ス)

一官有ノ山林燒失届

右村總代ヨリ届出ヘシ

一變死人届

一途中急病人届

一行倒人届

一迷子届

一棄子届

右戸長奥印ニ及ハス見當リ人ヨリ直チニ届ケ可差出(尤戸長ヨ

リモ届ケ出可シ)

(十四年甲第百卅一號ヲ以廢ス)

一逃亡并失踪人及同上立歸届

(右戸長奥印ノ上可差出)

(十四年甲第百三十一號ヲ以廢ス)

以上

第百八十三號 五月廿二日

第百八十五號 五月廿四日

華士族當主一寺住職僧尼之輩他管轄ニ送籍証授與之節証印願出來候所華族當主ヲ除ク之外向後府廳之証印ヲ受ニ不及戸長限リ送籍証差出不苦候事

右之趣戸長ニ及達候ニ付華士族及ヒ一寺住職之僧侶ニ爲心得相達候事

番外第十三號

五月廿七日

山城國

△

第百八十六號

五月廿九日

日本形船百石積以下ノ船舶大小漁船ヲ除クニハ從前別舷燈ノ制無之ニ付當局ニ於テモ現器ノ檢査ハ勿論允許ノ例規モ無之候處往々略製ノ舷燈ヲ用ユルカ爲却而衝突ノ患害ヲ醸成候哉ニ相聞就而ハ百石以下ノ船舶タリモ舷燈ヲ用ユル限リハ合規ノ品ニ無之而ハ危險不尠候條百石以下ニ用ユル略製ノ舷燈大小漁船ヲ除クハ自今製造不致稜各製造人へ嚴重達方相成度旨驛遞局長ヨリ照會有之候條此旨管内無漏相達者也

第百九十一號

五月卅一日

明治九年四月當府第百四十三號ヲ以テ達シ置候賣淫罰則中左ノ一條ヲ增加候條此旨管内へ無漏相達者也

第七條 第一條第二條ノ場合ニ於テハ必ス醫員ヲシテ癩毒檢査

第百九十二號

六月三日

戸長役場

ナナシ若シ染患ノ者アルモハ療病院へ差入治療セシムベシ  
地所建物船舶等質入書入及ヒ賣買スルニハ町村戸長ノ公証ヲ要スル成規之處町村戸長ニシテ自分所有之地所建物船舶等質入書入及ヒ賣買セントスルモ并ニ其所部内ニアル他人所有ノ地所建物或ハ所部内ノ者所有之船舶等ヲ質入書入ニ預ル等ノモハ戸長次席ノ役ヲ勤ムル用掛ニテ取扱ハセ公証ノ割印ハ戸長役場ノ印ヲ用井其由ヲ割印帳ニ登記シ置ヘク此旨相達候事〔本年達番外十四號參看〕  
右之通相達候條爲心得此段管内無洩相達スル者也

第百九十三號

六月四日

第百九十四號

全上

地券紛失ノ事ニ付略ス

第百九十八號

六月五日

△

第百九十九號 六月四日

當府下西陳織物會所ニ於テ、織物檢査証紙正品擬色緜交ノ三種相用候虎今般經緯トモ木縣織ニ貼用スル証紙左ノ二葉ヲ増加致度段該會所ヨリ申出候ニ付増加爲致候條爲心得此旨管内無洩相達者也  
(雛形略之)

第 二 百 號 六月六日 告諭

第 二 百 一 號 六月七日 △

第 二 百 二 號 六月五日 地券紛失ノ事ニ付畧ス

第 二 百 七 號 六月十一日 ○

第 二 百 九 號 六月十二日

當府番外第十號洋和牛貸與規則中乙號書式へ「但原價何圓」ノ五字ヲ加へ同第十二條中原價金二倍ヲ「六倍」ト改メ母牛ノ原價ヲ「母牛ノ原價金三倍」ト相改メ候條此旨管内無漏相達スル者也

第 二 百 十 號 六月十二日 緜死人在所不詳ニ付搜索ノ事  
第 二 百 一 號 全上

官有地拜借願出之節左之書式ノ通相心得願書兩通可差出此旨管内へ無漏相達者也

書 式

官有地拜借願

何 郡 何 組 何 町

字 何 々 何 番

一 何 地 何 程

此拜借料 壹ケ年又ハ金 何程

但 壹反步或ハ百坪ニ付金何程

何 々 年 季

右地所何々用 使用ノ事故ヲ 之爲メ拜借仕度候間御聞届被下度然ル上

ハ左之條々違背仕間敷候

一拜借科金ハ年月々々無遅滞上納可仕ハ勿論萬一借主ニテ遅引不納等之節ハ保証人ヨリ辨納可仕候

一該地御用之節者何時ニテモ御達相成次第返地可仕候

一自然年季繼拜借モ仕度トキハ季明ヨリ三ヶ月以前ニ可願立候

一拜借中不潔之義等無之様可仕候

右別紙圖面間敷坪數四方境等相添奉願候也

何郡何組何(町)華士族  
(村)平民

年月日

借主 何之誰 印

何々

保証人 何之誰 印

何々(保証人ハ二人以上トス)

保証人 何之誰 印

前書之通相違無御座候也

右戸長

何之誰 印

京都府知事榎村正直殿

第二百十六號 六月十四日

第二百十七號 六月十三日

第二百十九號 六月十九日

第二百二十號 全上

地券紛失ノ事ニ付畧ス

人乗車紛失ノ事ニ付畧ス

愛媛縣下伊豫國喜多郡(黒田村)長濱港脩繕維持方法、爲本年六月ヨリ滿十ヶ年間別紙之通リ諸船舶ヨリ入港錢取立方施行候旨同縣ヨリ照會有之候間此旨管内無漏相違者也

〔十三年第百十八號ヲ以削除〕

(別紙)



入港錢取立規則

一 漁業船 但壹ヶ年壹艘ニ付 金廿錢

一 日本形海川小廻商船五十石積未滿 但壹艘ニ付 金五錢

一 全上商船五十石積以上貳百石積未滿 但十石積ニ付 金壹錢

一 全上商船貳百石積以上五百石積未滿 但十石積ニ付 金九厘

一 全上商船五百石積以上 但十石積ニ付 金八厘

一 西洋形商船 但壹噸ニ付 金貳錢

○

第二百廿一號 六月十九日

第二百廿一號 六月十九日

第二百廿二號 全上

本年三月當府第百十二號ヲ以テ國稅并地方稅徵收之義云々當分渾  
テ從前之通ト相達置候處本年七月一日ヨリ國稅金上納方及營業願  
其他之手續左之通可相心得事

但地方稅之義者本年當府第百五十一號達之通可相心得候事

一地稅者從前之通戸長工可相納事

一地券証書換及証印稅上納共當分從前之通

一各酒造營業稅 但稼續之者

酒類釀造稅 但稼續之者

酒類受賣稅 但稼續之者

煙草營業稅 同

船稅 同

車稅 同

入港錢取立規則

一 漁業船

但壹ヶ年壹艘ニ付

金廿錢

一 日本形海川小廻商船五十石積未滿

但壹艘ニ付

金五錢

一 全上商船五十石積以上貳百石積未滿

但十石積ニ付

金壹錢

一 全上商船貳百石積以上五百石積未滿

但十石積ニ付

金九厘

一 全上商船五百石積以上

但十石積ニ付

金八厘

一 西洋形商船

但壹噸ニ付

金貳錢

第二百廿一號

六月十九日

○

第二百廿二號全上

本年三月當府第百十二號ヲ以テ國稅并地方稅徵收之義云々當分渾  
テ從前之通ト相達置候處本年七月一日ヨリ國稅金上納方及營業願  
其他之手續左之通可相心得事

但地方稅之義者本年當府第百五十一號達之通可相心得候事

モトノマ、

一地稅者從前之通戸長エ可相納事

一地券証書換及証印稅上納共當分從前之通

一各酒造營業稅 但稼續之者

酒類釀造稅

酒類受賣稅

煙草營業稅

船稅

車稅

但稼續之者

同

同

同

牛馬賣買免許稅  
賣藥營業稅

同 同

右者戸長エ可相納事  
一新規各酒造營業稅

同酒類受賣稅

同煙草營業稅

同船稅

同車稅

同牛馬賣買免許稅

同賣藥營業稅

銃獵稅

証券印紙稅

煙草印紙稅

訴訟用罫紙稅

諸鑑札料

同書換手數料

右者左ノ離形之如ク書面ヲ作リテ其稅金ヲ稅金預リ人本年當府第  
二百四十三  
號布達ノ相預ク預リ人ノ證印ヲ受ケテ后郡區役所へ可相納事  
備所中

(本年第四百廿六號ヲ以離形中更正)

用紙美濃堅三ツ切

朱 稅金預リ人稅金預リノ証印

何々稅  
何鑑札料  
何鑑札手數料  
一金何程

印

右現金稅金預リ人何之誰ニ相預上納候也

何郡何組何村

年月日

何之誰印

京都府布達要約

明治十二年

百四十四

一 國立銀行稅

米商會社稅

度量衡稅

販權免許料

右者前同斷ニシテ府廳へ可相納事

一 各酒釀造石高屆

同増減石屆

右之各兩通知事之名當ニシテ戸長ノ與印ヲ受區役所へ出スヘシ以下

願屆共總テ戸長ノ與印ヲ受  
郡區役所エ出スハ之ニ同シ

一 各酒造營業願

同受賣願

同行商願

烟草營業願

同仕入并出賣鑑札願

賣藥營業願

同受賣願

同行商願

牛馬賣買免許願

前之九業鑑札水火盜難及口遺失ニ付更ニ鑑札下渡願五十石以上

之回船及口西洋形蒸氣風帆船等新規製造ニ付鑑札下渡願

同他管下ヨリ買入ニ付同斷

將漁船并川船其他五拾石未滿之海船新規製造其他之願屆

諸車同斷

右者各壹通前同斷ニシテ出スヘシ

但代替リ改名轉居等ニテ鑑札書換願及廢業屆他管下エ賣渡屆

等者舊鑑札ヲ添出スヘシ

一統獵願

證券印紙賣捌願

烟草印紙賣捌願

訴訟用罌紙賣捌願

十四年第一百廿一號ヲ以二通ニ更定

右者各壹通郡區長名宛ニシテ出スヘシ

一酒類營業續之者毎年十月中該鑑札ヲ郡區役所ニ出シ改テ可受事

右之通管内無漏相違者也

第二百廿三號 六月十八日 (十三年第四百八十三號ヲ以改正)

第二百廿四號 六月十七日 地券紛失ノ事ニ付略ス

第二百三十號 六月廿二日

第二百廿二號 六月廿三日

第二百廿三號 全上

第二百廿五號 六月廿四日

○ ○ ○ ○ ○

第二百三十六號 六月廿五日

今般府下府立學校規則并司附錄女學校女紅場之分共改正候條爲心得相違候事

但右規則書ハ各組戸長へ頒布候條入學志願之者及口從來其子弟ヲ入學爲致届候者ハ右段場ニ就キ熟覽可致候

右之通管内無漏相違者也

第二百三十七號 六月廿五日 威銃鑑札遺失ノ事ニ付略ス

第二百三十八號 全上

虎列刺病流行ニ付豫防之爲施藥致シ候ハ篤志之事ニ候得共間々伺ナク施與候者モ有之乎ニ相聞へ不都合之事ニ候抑藥劑之儀ハ纒ニ分量ヲ誤レハ其害ヲナス况ンヤ劇烈之藥劑無稽之調合ニ於ルハ最以危嶮之至折角之篤志モ却而人命ヲ妨害スルニ至ル可シ因テ施藥之志アルモハ必ス藥名藥方用法等詳ニ書記シ可伺出若シ於相背

ハ屹度可及處分候條此旨管内無漏至急相違者也

第二百三十九號 六月廿五日

○

第二百四十號 全上

△

第二百四十一號 全上

△

第二百四十三號 六月廿七日

國税金爲替方并出張取扱箇所共別紙之通リ大藏省ヨリ通知有之候條此旨管内無漏相違スル者也

(別紙)

一 京都爲換方

下京區第三組六角町三百五十五番地

三井銀行分店

綴喜郡田邊村

郡役所内

全出張取扱所

全上

船井郡園部宮町二千五百七十貳番地

三井出張所

天田郡福地山下柳町二千百五十四番地

第三百三十國立銀行

加佐郡舞鶴新町四百九十四番地

和田平左衛門方

中郡峯山

郡役所内

與謝郡宮津驛魚屋町千二百八十番地

牧野平八郎方

全上

以上

第二百四十八號 六月三十日

△

第二百五十號 全上

○

第二百五十一號 全上 (十三年第四百二十號并ニ)  
第二百五十二號 七月三日 (第四百七十三號ヲ以更正)

本年第九號ヲ以西洋形新船海員雇入雇止規則公布相成候就テハ本  
則ニ依リ内務省ヨリ發行ノ雇入雇止證書用紙ハ各浦役場等ニ於テ  
左ノ定價ヲ以拂下ケ相成候旨同省ヨリ達有之候條爲心得管内無漏  
相達者也 (本年第四百四十四號參看)

海員雇入證書用紙 定價金四錢  
全 雇止證書用紙 全 金貳錢

第二百五十四號 七月三日 ○  
第二百五十五號 全上

京都裁判所管内滋賀縣下彦根區裁判所ヲ彦根支廳ト改稱各所分轄  
事務權限左之通改正來七月十日ヨリ施行候條此旨可相心得候事  
明治十二年六月三十日 京都裁判所長判事石井忠恭

一大津支廳 (本年第二百八十號ヲ以改正)

大津支廳管轄

一大津區裁判所 大津支廳内

分轄

近江國六郡

滋賀 野洲 甲賀  
栗大 蒲生 高嶋

全

一小濱區裁判所 若狹國小濱竹原町

分轄

若狹國二郡 遠敷 大飯

(十四年甲第七十一號ヲ以金澤裁判所ニ引渡)

同甲第五百五十七號ヲ以京都裁判所ニ屬ス)

一彦根支廳 (本年第二百八十號ヲ以改正)

彦根支廳管轄

一 彦根區裁判所 彦根支廳內

分轄

近江國五郡 舊十三區 神崎 愛智 犬上 阪田 伊香

淺井郡ノ内 舊第十三區ヨリ

〔十四年甲第七十一號ヲ以西淺井郡增加〕

全

一 敦賀區裁判所 越前國敦賀舊縣廳地

分轄

越前國一郡 敦賀

若狹國一郡 三方

近江國淺井郡ノ内 〔十四年甲第五百五十八號ヲ以淺井郡所轄更迭〕

〔十四年甲第七十一號ヲ以金澤裁判所ニ引渡

同甲第五百五十七號ヲ以京都裁判所ニ属ス〕

一 大津支廳ハ死罪并懲役終身ヲ除ノ外民刑一切ノ事務ヲ裁決ス

一 大津區裁判所彦根區裁判所ハ民事勸解ノ事務ヲ受理ス

一 小濱區裁判所敦賀區裁判所事務權限〔十三年第百八十八號ヲ以改正〕

右之通管內無漏相違者也

第二百五十七號 七月四日 ○

第二百六十一號 七月八日 △

第二百六十二號 全上 △

第二百六十六號 六月廿八日 地券紛失ノ事ニ付畧ス

第二百六十七號 七月十日 〔本年第三百十二號ヲ以廢止〕

第二百七十號 七月十一日 ○

第二百七十三號 七月八日

本月十日ヨリ伏見區市中ヲ京都一市内ニ組合セ郵便配集相成候旨  
京都郵便局ヨリ通知有之候條爲心得管內無洩相違者也



但集配度數往復方法ハ當分從前之通候事

第二百七十六號 七月十四日 (本年第三百三十號ヲ以廢止)

第二百七十九號 七月十六日 (本年第三百廿九號ヲ以廢止)

第二百八十號 七月十七日

京都裁判所管内滋賀縣下彦根へ支廳増置ニ付管轄區畫等本月一日  
達書中第一項第四項左ノ通更正候條此旨可相心得候事

明治十二年七月 京都裁判所長判事石井忠恭

一大津支廳 近江國大津上平藏町

分轄

近江國六郡 滋賀 野洲 甲賀  
栗太 蒲生 高島

若狹國二郡 遠敷 大飯

一彦根支廳 近江國犬上郡彦根

分轄

近江國六郡 阪神 愛智 犬上  
伊香 淺井

若狹國一郡 三方

越前國一郡 敦賀

右之通管内無洩相違者也

第二百八十一號 七月十八日 ○

第二百八十三號 七月十九日 ○

第二百八十五號 全上

濟貧恤窮ノ儀ハ既ニ明治七年太政官第百六十二號同八年內務省乙第  
八十五號達ノ規則アリト雖也中ニハ該則ニ照シ難キ窮民モ有之是  
等ノ者ハ固ヨリ親戚隣保ノ協救ニ付スヘキハ勿論ナレ也或ハ親戚  
ノ頼ルヘキナク隣保ノ救ニ力ナキカ如キハ是亦無告ノ窮民ト謂サ  
ルヘカラス故ニ今般府廳限リ別途ノ方法ヲ設ケ彼規則ニ適セサル  
事實無余儀窮民ヲシテ以テ告ル所アラシメントス宜シク左ノ條例

ニ據テ給與スヘシ  
右之通管内無洩相違者也

別途恤救條例

此條例ハ太政官恤救規則ニ當ラサル極貧者ニシテ疾病等ニ罹  
リ親戚ノ頼ヘキモナク隣保ノ協救モ力窮リ實際告ル所ナキ者  
ヲ救助スルノ趣意タルニ依リ或ハ親戚ノ頼ヘキアルカ又ハ隣  
保未タ協救ノ情誼ヲ盡ササルカ如キハ給與スルノ限ニ非ス且  
目下窮迫ノ者ト雖モ追テ生産ノ道可相立者ナシトモ故ニ郡  
區戸長ニ於テ現場ノ景況及將來ノ目的具サニ調査ヲ遂ケ其旨  
詳細具狀シテ荏苒給與等ノ一無之様屹度注意スヘシ

第一條 極貧ノ者獨身ニテ重病或ハ老衰シテ産業ヲ營ム能ハサル  
者ニハ一ケ年米壹石八升<sup>一日ノ積ヲ以テ給與スヘシ</sup>

第二條 同廢篤疾ニ非スト雖モ五十日以上ノ疾病ニ罹リ産業ヲ營

ム能ハサル者ニハ全癒ニ至ル迄一日ニ付男ハ米三合女ハ二合ノ  
割ヲ以テ給與スヘシ

第三條 同廢篤疾ノ者獨身ニ非スト雖モ餘ノ家人疾病等ニテ産業  
ヲ營ム能ハス事實難捨置情故アレハ給與スルコト有ヘシ然レモ右

様ノ場合ニ於テハ制限ヲ定メス其適度ヲ斟酌シ給與スルコトアルヘシ

第四條 同其故舊隣保精々協救シ若其手當不足ニシテ内幾分ノ補  
助ヲ仰クカ如キハ事實調査ノ上其幾分ヲ給與スヘシ

第五條 前條々ニ掲ケシ窮民ノ如キハ該隣保ノ者又ハ戸長村總代  
ヨリ別紙雛形ニ照準事實ヲ具狀シ區<sup>郡</sup>役所ヲ經テ救助方願出ヘシ

第六條 前條々ニ依テ救助ヲ願フト雖モ<sup>區</sup>譬ハ一ケ年壹石八升目途  
ニ立其以内ヲ以テ足りトスルカ如キハ可成丈ケ減量スヘシ

第七條 戸長ハ平素其町村人民各自ノ營業上ニ注意スベキハ勿論  
若前條々ニ掲ケシ等ノ窮民アルモハ自分率先シテ是カ協救方ヲ



第二百八十七號 七月十九日

第二百八十八號 七月廿三日

去明治七年四月管内寺院住職進退願書規則相達候内戸長奥印ノ後  
へ本山本寺所轄寺ノ副願相認候書式ニ有之處自今戸長奥印ヲ本山  
本寺等ノ結末へ相認可申候事

右之通改正候條管内無洩相達スル者也

第二百八十九號 七月廿三日

本年當府第百八十七號ヲ以テ社寺寶物古文書保護ノ儀内務省ヨリ  
達ノ趣布達ニ及ヒ置候處右達ニ就テ調製スヘキ目錄帳中へ記載ノ  
物品ハ明治十年太政官第四十三號公布之通抵當ト爲スヘカラザル  
筋ニシテ且目錄帳へ記載セスト雖モ該社寺ニ別段ノ由緒アル地所建  
物等モ寶物古文書ニ準スヘク旨尙又同省ヨリ達有之候條自今社寺ニ  
於テスル抵當ハ寶物古文書ノ外ト雖モ惣テ當府ノ認可ヲ得ヌ自儘

ニ取計候儀不相成候事

右之通管内へ無漏相達者也

第二百九十號 七月廿三日

岩手縣下各港へ物産積入等ノ爲メ投錨スル日本形西洋形商船ニ於  
テ船足ノ釣合ヲ取ル爲メ一時多量ノ土砂ヲ積込追テ荷物積入ニ隨  
ヒ其土砂ヲ港内ニ投棄スル弊習有之候處右ハ將來港内ヲ填塞シ船  
船ノ出入ニ障礙ヲ生スルノ憂不尠候間來ル九月一日以後外國船ヲ  
除ノ外各港碇船ノ商ヲ投棄セント欲スル者ハ浦役場へ申出浦役人  
ノ指揮ヲ請最寄陸地へ取揚候様可致旨同縣下へ布達相成候段申來  
候條爲心得此旨管内無漏相達者也

番外第十六號 七月廿四日

第二百九十三號 七月廿八日

第二百九十四號 七月卅一日

上下京伏見區 ○

(十四年甲第八十四號ヲ以更達)

第二百九十五號全上

今般巡查住居ノ戸前へ京都府巡查某ト左之雛形通記載ノ標札掲ケ  
サセ置候條若急變等之節者明治七年七月當府第二百六十三號之通可  
相心得此旨管内無漏相違者也

豎八寸五分

今出之日蓋

京都府

巡查

何條某

第二百九十六號

七月九日

地券紛失ノ事ニ付略ス

番外第十七號

七月一日

〔十三年番外第十一號ヲ以改正〕

第二百九十七號

八月二日

〔十四年甲第四百四十三號及甲  
第四百四十四號ニヨリ廢ス〕

第三百一號

八月五日

○

第三百一十二號

八月六日

〔本年第三百九十二號ヲ以廢止〕

第三百三號全上

明治十一年十一月當府第三百二十七號ヲ以テ及布達置候ハ商取締規  
則中ニ掲載アル商業ノ者向後取締ノ爲別段鑑札下ケ渡候條上下京  
警察署所轄ハ府廳へ其他ニ於テハ所轄警察署へ來ル九月三十日迄  
ニ可願出候事

〔十四年甲第七十二號ヲ以願出方更正〕

但以來開業ノ者ハ本文同様願出鑑札可申受廢業ノ者ハ直チニ可  
相納尤鑑札料相納タルニ不及候事

右之通管内へ無漏相違者也

第三百五號

八月七日

○

第三百六號

八月六日

〔第三百四十八號ヲ以廢止〕

第三百十一號

八月八日

〔十三年第百六十六號ヲ以廢止〕

第三百十二號

八月十一日

△

十四年甲  
二百四十  
九號ヲ以  
廢止

第三百十六號 八月十二日  
第三百十八號 八月十五日

明治十一年十一月十一日當府第三百二十九號ヲ以テ及布達置候違式誣違條  
例中違式罪目第二條第三條第十條第十四條第十五條第五十條第六  
十一條誣違罪目第十二條第十六條第六十三條第六十六條第七十條  
等ヲ刪除シ違式罪目第五十八條誣違罪目第二十八條第六十一條第  
六十二條左之通改正候條此旨管内へ無漏相達者也

違式罪目

第五拾八條 區内又ハ町集會又ハ家屋敷買得并家替等ノ節振舞其  
外何事ニ寄ラス無益ノ費ヲナサセシ者

誣違罪目

第二拾八條 狂惡ノ牛馬ヲ知テ飼置他人ニ妨害ヲ掛クル者  
第六拾一條 猛兇等ヲ用ヒ隱顯寫眞ト稱シ白紙ヲ水ニ浸シ書畫等

ヲ顯ス物ヲ製シ又ハ販賣セシ者

第六拾二條 河豚魚ヲ食スル者

但乾魚ト爲シタルハ此限ニアラス

第三百拾九號 八月十六日

第三百廿一號 八月廿一日

今般京都療病院醫學校ニ於テ通則醫學教場相設候ニ付入校規則學  
課表及學資等別紙之通相定候條志願之者ハ別紙規則面ニ准シ入校  
可願出此旨管内へ無洩相達スル者也

〔別紙〕通則學課

京都醫學校通則醫學生入學期限全四年ヲ分ツテ八期トナシ每一  
期小試驗ヲ要シ第八期ノ末ニ於テ卒業大試驗ヲ要ス

- 第一期 物理學 無機化學 解剖學
- 第二期 物理學 有機化學 解剖學

|     |       |        |      |
|-----|-------|--------|------|
| 第三期 | 人身組織學 | 病理解剖學  | 生理學  |
| 第四期 | 生理學   | 病理通論   | 診斷法  |
| 第五期 | 病理各論  | 內外科諸法科 | 藥劑學  |
| 第六期 | 全上    | 全      | 實際經驗 |
| 第七期 | 臨床講義  | 全      |      |
| 第八期 | 全上    | 全      |      |

京都醫學堂

通則學資式

- 一金壹圓 管內生 入校生
- 一同貳圓 管外生 全
- 一同貳拾五錢 管內生 月謝
- 一同五拾錢 管外生 全
- 同入校規則

一年齡ハ十八歳ヨリ三十歳ニ至ル

一和漢普通ノ書籍ヲ學ビ得タル者ヲ驗シテ後入學ヲ許スヘシ

一入學ノ期ハ每歳一回ト定メ九月五日ヨリ同十五日ニ至ル

但シ一回五十名ヲ限ル

第三百二十二號 八月廿一日

第三百二十六號 八月廿三日

神戸港出入蒸氣船吹笛鳴鐘規則兵庫縣ヨリ通知ニ付本年三月當府第九十三號ヲ以テ相違候處今般別紙之通改定候旨同縣ヨリ通知有之候條爲心得此旨管内無漏相違者也

(別紙)

甲第百三十九號

本年三月甲第三十四號布達神戸港出入蒸氣船吹笛鳴鐘規則左之通改定候條此旨布達候事

明治十二年八月廿二日

兵庫縣今森岡昌純

神戸港出入蒸氣般吹笛規則

- 第一條 出船前及入船投錨ノ時共吹笛ハ一回ニ限ルヘキ事
- 第二條 吹笛ハ壹分時間ニ不可過事
- 第三條 進航中合圖ヲナスノ外不時吹笛不相成候事
- 甲第百四十號

違式註違罪目第百十一條削除候條此旨布達候事

明治十二年八月廿二日

兵庫縣森岡昌純

第三百二十七號

八月廿五日

(本年第三百九十二號ヲ以廢止)

第三百二十八號

全上

威銃鑑札紛失ノ事ニ付略ス

第三百三十號

八月廿六日

△

第三百三十一號

八月廿七日

○

第三百三十二號

全上

△

第三百三十三號

全上

○

第三百三十四號

八月廿八日

本年三月第百壹號ヲ以テ酒類ニ藥品ヲ配伍シ販賣候者ノ取扱方相達置候處右達書ニ掲載セル品目外ノ者ニシテ酒類ヲ和スト雖也全ク藥性ヲ浸出スルニ止マルモノハ酒類稅則ノ限ニアラス其種類ニ依リ明治九年第二百十二號布達ニ照準シ製藥免許ヲ受ルカ又ハ明治十年一月第二十四號ニ依リ賣藥免許ヲ受ケ販賣致ス可ク但酒造營業人及ヒ酒類受賣營業人於テ酒精或ハ再餾酒精ヲ蒸餾シ又ハ販賣スル者ハ酒類稅則中燒酎ノ明文ニ據リ課稅スヘキ事

右ハ内務省大藏省ヨリ達ノ次第有之候ニ付管内無漏相達者也

第三百三十九號

九月一日

△

第三百四十一號

九月三日

○

第三百四十四號

九月五日

(十三年第三百十七號ヲ以廢止)



|         |       |   |
|---------|-------|---|
| 第三百四十五號 | 全上    | ○ |
| 第三百四十六號 | 九月六日  | ○ |
| 第三百四十八號 | 八月八日  | △ |
| 第三百五十號  | 九月九日  | ○ |
| 第三百五十三號 | 九月十五日 | △ |
| 第三百五十四號 | 全上    | △ |
| 番外第十八號  | 九月十三日 |   |

街燈點火之儀費用節減之爲滿月前夜ヨリ翌夜迄三夜之間八月明ノ夜ヲ限リ點火ニ不及候事

但近來街燈ノ掃除不注意ナルアリ燈火ノ細暗ナルアリ右等ノ向ハ月夜無點ノ節減ニ對シ常夜ノ點燈ハ時刻ヲ愆メ掃除ヲ怠ラメ燈光極メテ明瞭ナラシメ候様可致事

右之通上下京伏見各區中へ無洩相達スル者也

|         |       |   |
|---------|-------|---|
| 第三百五十九號 | 九月十九日 | △ |
| 第三百六十二號 | 九月廿二日 | ○ |
| 第三百六十三號 | 九月廿五日 | ○ |
| 第三百六十四號 | 九月廿六日 | △ |
| 第三百七十一號 | 九月廿七日 | △ |
| 第三百七十二號 | 九月廿八日 | △ |
| 第三百八十六號 | 九月廿九日 |   |

園部支廳  
宮津支廳  
童仙房支廳

右支廳今般相廢止候事  
右之通管内無洩相達スル者也  
第三百八十七號 九月廿九日 △

第三百八十八號 十月七日

△

第三百九十二號 十月十三日

飼犬ノ儀ニ付本年八月當府第三百二號ヲ以テ及布達置候處詮議之次第有之右布達ハ相廢シ自今飼犬ニハ更ニ飼主ノ住所姓名ヲ明記セ  
ル札ヲ付置可シ之ヲ付セサル犬ハ見當リ次第撲殺セシム其狂惡ナル犬ハ假令札ヲ付ケタルモ亦之ヲ撲殺セシメ候條此旨管内へ無洩  
相達者也

第三百九十五號 十月十四日

△

第三百九十八號 全上 職獵免狀遺失ノ事ニ付畧ス

第四百壹號 十月十五日 (十三平第四百廿號并第  
四百七十三號ヲ以更定)

第四百四號 十月廿一日

旅行免狀ヲ所持スル外國人旅行ノ節疾病其他不得已事故アルルハ  
旅籠渡世ノ者ニ無之トモ一時宿泊セシメ不苦尤同時ニ必ス其事故

ヲ詳記シ戸長役場及口所總警察分署へ可届出若シ滯留數日ニ及フ  
ハハ七日毎ニ可届出事

但シ出立ノ節モ本文同様可届出事

右之通管内へ無洩相達者也

第四百六號 十月廿三日

○

第四百七號 全上

明治十一年十一月十一當府第三百廿七號ヲ以テ及布達置候ハ商取締規則  
第十三條賣買帳ノ下(并ニ質貸臺帳)ノ六字ヲ加へ候條此旨管内へ無  
漏相達スル者也

第四百八號 十月廿三日

△

第四百十一號 十月廿八日

○

第四百十二號 十月廿九日

鹿兒嶋縣下薩摩國鹿兒嶋港へ竿燈建築點燈ニ付入津船ヨリ燈費取

立之儀本年四月當府第百廿九號ヲ以テ相違置條處今般右取立高別  
記之通改正候旨同縣ヨリ通知有之候條此旨管内無漏相違者也

(別記)

入津船ヨリ竿燈費取立調

日本形船

|                    |    |        |        |    |        |
|--------------------|----|--------|--------|----|--------|
| 一三枚帆船              | 壹艘 | 金貳錢五厘  | 一四枚帆船  | 壹艘 | 金四錢    |
| 一五枚帆船              | 同  | 同六錢    | 一六枚帆船  | 同  | 同八錢    |
| 一七枚帆船              | 同  | 同十錢    | 一八枚帆船  | 同  | 同十二錢   |
| 一九枚帆船              | 同  | 同十四錢   | 二十枚帆船  | 同  | 同十六錢   |
| 二十一枚帆船             | 同  | 同十八錢五厘 |        |    |        |
| 但十二枚以上廿枚迄一枚毎ニ貳錢五厘増 |    |        |        |    |        |
| 一十三枚帆船             | 壹艘 | 金廿二錢   | 一十三枚帆船 | 壹艘 | 金廿三錢五厘 |
| 一十四枚帆船             | 同  | 同廿六錢   | 一十五枚帆船 | 同  | 同廿八錢五厘 |

|        |   |       |        |   |        |
|--------|---|-------|--------|---|--------|
| 一十六枚帆船 | 同 | 同卅一錢  | 一十七枚帆船 | 同 | 同卅三錢五厘 |
| 一十八枚帆船 | 同 | 同卅六錢  | 一十九枚帆船 | 同 | 同卅八錢五厘 |
| 一二十枚帆船 | 同 | 同四十一錢 | 一廿一枚帆船 | 同 | 同四十四錢  |

但廿二枚以上壹枚毎ニ三錢増

|        |    |       |        |    |       |
|--------|----|-------|--------|----|-------|
| 一廿二枚帆船 | 壹艘 | 金四拾七錢 | 一廿三枚帆船 | 壹艘 | 金五十錢  |
| 一廿四枚帆船 | 同  | 同五拾三錢 | 一廿五枚帆船 | 同  | 同五拾六錢 |
| 一廿六枚帆船 | 同  | 同五拾九錢 | 一廿七枚帆船 | 同  | 同六十二錢 |
| 一廿八枚帆船 | 同  | 同六拾五錢 | 一廿九枚帆船 | 同  | 同六拾八錢 |
| 一三十枚帆船 | 同  | 同七拾一錢 | 一卅一枚帆船 | 同  | 同七拾四錢 |
| 一卅二枚帆船 | 同  | 同七拾七錢 | 一卅三枚帆船 | 同  | 同八十錢  |

西洋形

|        |    |      |       |   |      |
|--------|----|------|-------|---|------|
| 一三噸未滿積 | 壹艘 | 金十錢  | 一五噸未滿 | 同 | 金廿錢  |
| 一拾噸未滿  | 同  | 同三拾錢 | 一廿噸未滿 | 同 | 同四拾錢 |

一三十噸未満 同 同五拾五錢 一五十噸未満 同 同七拾五錢  
 一百噸未満 同 同壹圓 一五百噸未満 同 同壹圓五拾錢  
 一千噸未満 同 同貳圓 一千噸以上 同 同貳圓五拾錢

第四百十三號 十月三十日 印鑑遺失ノ事ニ付略ス

第四百十七號 十一月一日 威銃鑑札遺失ノ事ニ付略ス

第四百十八號 全上

先般市郡境界改正ニ付郡地ヨリ京都市街へ編入之地夫々別紙之通  
 新ニ町名稱呼候條爲心得此旨管内無洩相違者也

(別紙)

葛野郡第壹組中堂寺村之内ヨリ  
 市街へ編入地

一貫町通雪踏屋町下ル町

右下京區第十六組へ編入藪之内町ト稱ス

同郡同組八條村之内同斷

左女牛通櫛笥西へ入町

右同斷藥園町ト稱ス

同斷

櫛笥通八條上ル町

右同區第三十二組へ編入八條町ト稱ス

同斷

坊城通八條下ル町

右同斷東寺町ト稱ス

同郡同組西九條村ノ内同斷

油小路通三哲下ル町

右同區第廿九組へ編入南油小路町ト稱ス